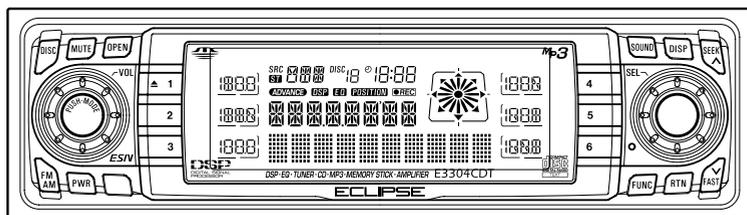


ECLIPSE

マルチコントロール CD/MSメインユニット

E3304CDT

取扱説明書



お買い上げいただきありがとうございます。
正しくご使用いただくために、この『取扱説明書』をよくお読みください。
また、お読みになった後も、必要なときにすぐご覧になれるよう
大切に保管してください。

FUJITSU TEN

安全に正しくお使いいただくために

この取扱説明書および製品では、製品を安全に正しくお使いいただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、以下の表示をしています。表示と内容をよく理解してから本文をお読みください。



警告

この表示を無視して、誤った取扱をすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意

この表示を無視して、誤った取扱をすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。



警告

- **本機はDC12V \ominus アース車用です。大型トラックや寒冷地仕様のディーゼル車などの24V車では使用しない。**
火災の原因となります。
- **事故防止のため、電池は幼児の手の届かないところに保管する。**
万一、お子様が飲みこんだ場合は、ただちに医師の治療を受けてください。
(ボタン電池)
- **運転者は走行中に音量調節等の操作をしない。**
前方不注意となり事故の原因となりますので、必ず安全な場所に車を停車させてから行ってください。
- **ディスクおよび“メモリースティック”挿入口に異物を入れない。**
火災や感電の原因となります。
- **本機を分解したり、改造しない。**
事故、火災、感電の原因となります。
- **機器内部に水や異物を入れない。**
発煙、発火、感電の原因となります。
- **リモコンを放置しない。**
停車したときやカーブを曲がる時に、リモコンが足元に転がり、ブレーキペダルなどの下に入り込むと運転の妨げとなり交通事故の原因となります。
- **音が出ないなどの故障状態で使用しない。**
事故、火災、感電の原因となります。

 **警告**

- **ヒューズを交換するときは、必ず規定容量(アンペア数)のヒューズを使用する。**
規定容量を越えるヒューズを使用すると、火災の原因となります。
- **万一、異物が入った、水がかかった、煙が出る、変な匂いがするなどの異常が起きた場合は、直ちに使用を中止し、必ずお買い上げの販売店に相談する。**
そのまま使用すると事故、火災、感電の原因となります。
- **運転者は走行中に、ディスクおよび“メモリースティック”等の交換をしない。**
前方不注意となり事故などの原因となりますので、必ず安全な場所に車を停車させてから行ってください。
- **ビニール袋をかぶらない。**
大きな事故や窒息死の原因となります。

 **注意**

- **本機の取り付け場所変更時は安全のため必ずお買い上げの販売店へ依頼してください。**
取り外し、取り付けには専門技術が必要です。
- **運転中の音量は、車外の音が聞こえる程度で使用してください。**
車外の音が聞こえない状態で運転すると、事故の原因となることがあります。
- **ディスクおよび“メモリースティック”挿入口に手や指を入れないでください。**
けがの原因となることがあります。
- **前面パネルオープン/クローズ時に手や指を挟まないでください。**
けがの原因となることがあります。
- **アンプ放熱部(背面部)に手を触れないでください。**
放熱部の熱でやけどをする場合があります。
- **乾電池は充電しないでください。**
電池の破裂により、けがの原因となることがあります。
- **指定の電池以外は使用しないでください。また新しい電池と古い電池を混ぜて使用しないでください。**
電池の破裂、液漏れにより、けがや周囲を汚染する原因となります。

 注意

- **電池を機器内に挿入する場合は、極性〈プラス+・マイナス〉に注意し、表示通りに入れてください。**

電池の極性を間違えると破裂、液漏れにより、けがや周囲を汚染する原因となることがあります。
- **使い切った電池はすぐに交換してください。**

液漏れにより、周囲を汚染する原因となることがあります。
- **アルカリ乾電池のアルカリ性溶液が皮膚や衣服に付着したときは、きれいな水で洗い流し、また眼に入ったときはきれいな水で洗った後ただちに医師の治療を受けてください。**
- **リチウム乾電池を廃棄する場合は、プラス+・マイナス-端子に絶縁性テープを貼るなどして絶縁状態にしてから「所在自治体の指示」に従って廃棄してください。**

他の金属片等導電性のあるものと一緒に廃棄したりするとショートして、発火、破裂の原因となることがあります。
- **電池をショートさせたり、分解や加熱をしたり、火や水の中に入れてください。**

電池の破裂、液漏れにより火災やけがの原因となることがあります。
- **リモコンは直射日光・高温・高湿の場所を避けて保管してください。**

ケースの変形、内部電池の破裂、液漏れの原因となることがあります。
- **本機を車載用として以外は使用しないでください。**

感電やけがの原因となることがあります。
- **電源ON時は、ボリュームの位置に注意してください。**

電源ON時に突然大きな音が出て、聴力障害などの原因となることがあります。
- **音声が割れる、歪むなどの異常状態で使用しないでください。**

火災の原因となることがあります。
- **長時間歪んだ状態で使用しないでください。**

スピーカーが発熱し、火災の原因となることがあります。
- **本機は不可視レーザー光を使用しています。本機の分解、改造はしないでください。万一、不具合が生じた場合には、必ずお買い上げの販売店にご相談ください。**

本機の改造は、危険なレーザー放射の被爆(視力低下の原因)をもたらせたり、事故・火災・感電の原因となることがあります。
- **万一、この機器を落としたり、キャビネットを破損した場合は、機器本体の電源スイッチを切り、販売店にご連絡ください。**

そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

目次

使用上のご注意	10
本機をお使いになるうえでのおねがい	10
CDについて	12
CDの清掃	14
“メモリースティック” について	15
“メモリースティック” の清掃	16
各部の名称	17
基本操作	18
電源を入れる/切る	18
CDを聞く	19
“メモリースティック” を聞く	20
ラジオを聞く	21
音量を調節する	22
瞬時に音量を小さくする	22
オーディオコントロールモードを切り換える	22
VOL(VOLUME)モード	23
BASSモード	23
TREB(TREBLE)モード	23
BAL(BALANCE)モード	23
FAD(FADER)モード	23
NON-F(Non-FADER)モード	23
SVC(Source Volume Control)モード	24
LOUDネスを切り換える	25
ディスプレイ調整モードでの設定	26
コントラスト調整	27
ボタン照明色の切り換え	27
ファンクションモードでの設定	28
ガイドトーン ON/OFF	29
時計表示 ON/OFF	29
時刻の調整	30
操作アシスト機能について	31

CD部の操作 32

CDを聞く	32
次の曲に進む/曲の頭に戻る	32
早送り・早戻しする	33
曲の始まりを演奏する(SCAN)	33
繰り返し演奏する(REPEAT)	33
曲の順番を変えて演奏する(RANDOM)	33
CDのタイトルを設定する	34
設定したタイトルを変更する	36
設定したタイトルを削除する	37
CD TEXTの表示について	38
ディスクを取り出す	39

MP3の操作 40

MP3について	40
MP3とは?	40
再生可能なMP3ファイルの規格について	40
ID3タグについて	40
使用できるメディアについて	41
使用できるディスクのフォーマットについて	41
ファイル名について	42
マルチセッションについて	43
MP3の再生について	43
MP3の演奏時間表示について	43
MP3ファイル、フォルダの演奏順番	43
MP3を聞く	44
次のファイルに進む/ファイルの頭に戻る	45
次のフォルダに進む/前のフォルダに戻る	45
早送り・早戻しする	45
ルートディレクトリへ戻る	45
曲の始まりを演奏する(SCAN)	46
繰り返し演奏する(REPEAT)	46
曲の順番を変えて演奏する(RANDOM)	47
MP3演奏時の表示を切り換える	47

“メモリースティック” 部の操作 48

“メモリースティック” を聞く	48
次の曲に進む/曲の頭に戻る	49

早送り・早戻しする	49
曲の始まりを演奏する(SCAN)	49
繰り返し演奏する(REPEAT)	49
曲の順番を変えて演奏する(RANDOM)	50
“メモリースティック”へ録音する	51
録音方式の設定.....	52
“メモリースティック”をフォーマットする	54
ファイルを消去する.....	56
“メモリースティック”を取り出す	57

ラジオ部の操作 58

ラジオを聞く	58
自動的に放送局を記憶させる	59
手動で放送局を記憶させる	59
記憶させた放送局を確認する	60
放送局名を表示する(放送局のエリア設定)	60
FM放送について	62
FM電波の直進性	62
フェードアウト	62
FM放送のサービスエリア	63
マルチパス	63

サウンド調整モードの操作 64

サウンド調整モードについて	64
DSP.....	64
ポジションセクタ.....	64
NON-FADERフェーズ	64
グラフィックイコライザ	65
パラメトリックイコライザ	65
簡易タイムアライメント.....	67
クロスオーバー	68
マルチハーモナイザ	70
E-iSERV連携音響カスタマイズ	70
サウンド調整モードの切り換え	71
サウンド調整モード(通常モード)での操作	71
DSPモード切り換え(DSP).....	72
ポジションセクタの設定(PPOSITION)	73
フェーズの切り換え(NON-FADER)	73

サウンド調整モードの切り換え	74
サウンド調整モード(ADVANCEモード)での操作	74
イコライザの設定(EQ)	75
簡易タイムアライメントの設定(T-ALIGN)	79
クロスオーバーの設定(X-Over)	83
マルチハーモナイザの設定(HARMONIZER)	84
NON-FADER フェーズの切り換え(NON-FADER)	84
音質データの取り込み	85

ESNセキュリティーの操作 86

ESNについて	86
セキュリティータイプ(Key CDセキュリティー、 “メモリースティック”セキュリティー)の切り換え	87
ESN(Key CDセキュリティー)の操作	88
Key CDの登録	88
Key CD登録の解除	89
Key CDの変更	89
動作ロック状態の解除	90
ESN(“メモリースティック”セキュリティー)の操作	91
暗証番号の登録	91
“メモリースティック”セキュリティーの解除	92
暗証番号の変更	93
動作ロック状態の解除	94
ACCセキュリティーの設定	96
セキュリティーインジケータの表示	97
電子シリアルナンバー(Electronic Serial Number)の表示	97

(別売)CDオートチェンジャー/MDチェンジャーを

接続したときの操作 98

ディスクモードに切り換える	98
次の曲に進む/曲の頭に戻る	99
早送り・早戻しする	99
曲の始まりを演奏する(SCAN)	99
繰り返し演奏する(REPEAT)	99
曲の順番を変えて演奏する(RANDOM)	100
次のディスクに進む/前のディスクに戻る	100
演奏するディスクを指定する	101
CDのタイトルを設定する	102

設定したタイトルを変更する	104
設定したタイトルを削除する	105
MD演奏時の表示を切り換える	105
(別売)リモコンの操作	106
使用上の注意	106
清掃について	106
電源を入れる/切る	107
音量を調節する	107
瞬時に音量を下げる(ミュート).....	107
機能を切り換える	107
ラジオ利用時の操作	108
FM AMを切り換える.....	108
放送局を選ぶ(自動・手動)	108
記憶済みの放送局を選ぶ.....	108
CD、MD利用時の操作	109
次の曲に進む/曲の頭に戻る	109
次のディスクに進む/前のディスクに戻る	109
ディスクモードを切り換える	109
電池を交換する	110
その他の操作	111
ポータブルオーディオ機器をAUX端子に接続する場合	111
困ったときは	112
インフォメーションが点滅する	113
仕様について	118
アフターサービスについて	120

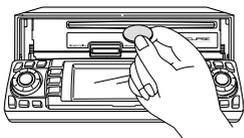
使用上のご注意



走行中のオーディオ操作は、運転に支障がないように安全には十分注意して行ってください。

本機をお使いになるうえでのお願い

- ・安全のため運転中の音量は車外の音が聞こえる範囲でお楽しみください。



- ・ディスクおよび“メモリースティック”挿入口には、コインやキャッシュカードなどディスクおよび“メモリースティック”以外の異物を絶対に入れてください。特にお子さまのいたずらに注意してください。



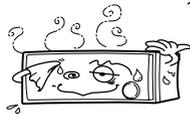
- ・悪路を走行中、激しく振動した場合、音が途切れる(音とび)ことがあります。このようなときは、路面のよい道路に出てからあらためて本機をご使用ください。

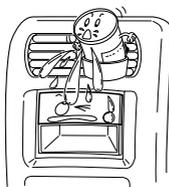


- ・寒いときや雨降りのときは、車内のガラスが曇るように、本機内部にも露(水滴)が生ずることがあります。(結露現象)この場合、音がとんだり、再生が停止したりしますので、しばらくの間、換気または除湿してからご使用ください。

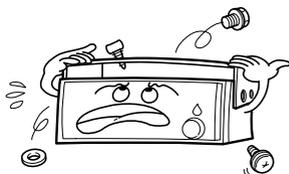


- ・夏期は車内温度が高くなるので、車内の温度を下げてから本機をお使いください。

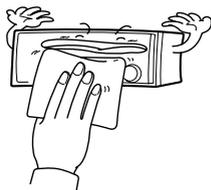




- ・湿気に注意してください。本機に液体が入ったり、かかったりすると思わぬ故障や破損の原因となります。本機周辺にセットしてあるドリンクホルダー内の飲み物などには特にご注意ください。



- ・本機内部は、精密な構造になっているので、分解、改造はしないでください。万一、不具合が生じた場合には、お買い求めの販売店にご相談ください。



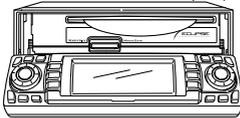
- ・本機は、乾いた柔らかい布で拭いてください。汚れがひどい場合は、アルコールにひたした布をご使用ください。

CDについて



- ・本機は左のマークのついたCDのご使用をお勧めします。
- ・本機は音楽専用のCD-R(CD-Recordable)/CD-RW(CD-Rewritable)の再生が可能です。必ずファイナライズ処理したものをご使用ください。ただし、編集された機器により、再生できない場合があります。

記憶された信号は、ディスクに直接触れることなくレーザー光線によって読み取ります。信号面やラベル面にキズがついていたり、大きくそったディスクは音質の低下や音とびの原因になります。いつもよい音を楽しむため、次のことを十分注意してください。



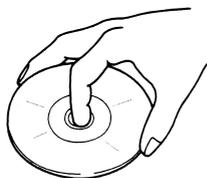
- ・ディスクをイジェクト状態のまま長時間放置しないでください。その原因になります。
ディスクは必ずケースに入れて、直射日光の当たる場所や高温・多湿の場所をさけて保存してください。



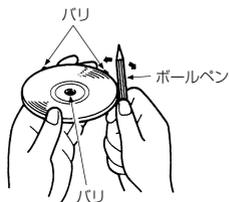
- ・信号面やラベル面に紙やシールなどを貼りつけたり、文字を書いたり、キズをつけたりしないようにしてください。
- ・CDにセロハンテープやレンタルCDのラベルなどの糊がはみ出したり、はがした跡があるものはお使いにならないでください。そのままCDプレーヤーにかけると、CDが取り出せなくなったり、故障する原因となることがあります。



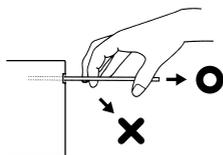
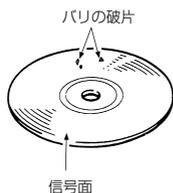
- ・ディスクはデッキ内部で高速回転します。ヒビがはいたり、そりが大きいディスクはCDデッキの故障の原因となりますので使用しないでください。



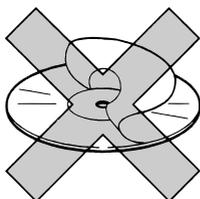
- ・信号面に触れないように取り扱ってください。



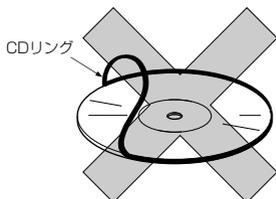
- ・新しいCDをご使用になると、CDのセンターホールや外周部にバリがあることがあります。バリがついているときは、ボールペンなどで取り除いてからご使用ください。バリがついているCDを使用すると、デッキに入らなかったり、使用中にバリの破片がCDの信号面に付着し、音とびをしたりする場合があります。



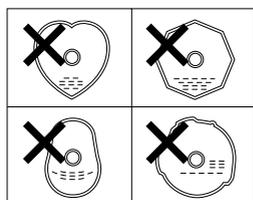
- ・本機からCDを取り出すときは水平方向に引き出してください。下側に強く押しながら引き出すとCD記録面にキズをつける原因となります。



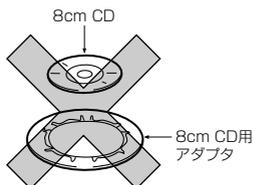
- ・音質向上やCD保護用として市販されているアクセサリ（スタビライザー、保護シールなど）、またCDラベルなどは使用しないでください。CDの厚さや外形寸法が変わるため、故障の原因となる場合があります。



- ・音質向上や防振効果を高めるCDの保護用として市販されているアクセサリ（CDリング、プロテクター）は使用しないでください。内部ではずれて再生できなったり取り出せなくなるため、故障の原因となる場合があります。



・ハート形や八角形など特殊形状のCDは、演奏できません。機器の故障の原因となりますので、ご使用にならないでください。

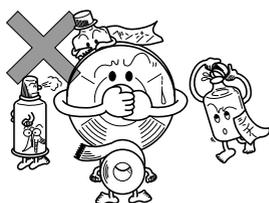


・本機では、8cmCDをアダプターなしで再生できます。
 ・8cmCDにシングルアダプターを付けてディスクを再生すると、誤動作することがありますので使用しないでください。

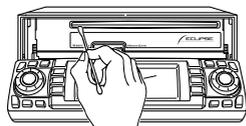
CDの清掃



・ディスクが汚れたときは、市販のコンパクトディスク・クリーナーでディスクの内側中心から外側方向へ軽く拭き取ってください。



・ベンジン、シンナー、LP用スプレーやクリーナーなどは使用しないでください。



・ディスク挿入口は、ホコリがたまりやすいので時々掃除してください。ホコリがたまった状態でディスクを挿入すると、ディスクにキズがつくことがあります。

“メモリースティック”について

MAGIC GATE

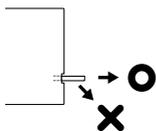
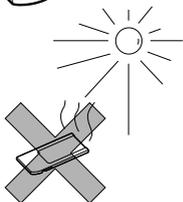


- ・左記のマークの付いた“MG メモリースティック”は使用できません。
- ・左記のマークの付いた“メモリースティック”は本機への音楽データ以外の書き出し、取り込みの場合に使用できます。

“MagicGate Memory Stick”（“マジックゲートメモリースティック”）、
“Memory Stick”（“メモリースティック”）はソニー株式会社の商標です。

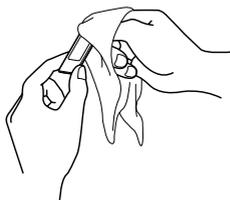
- ・静電気や電氣的ノイズを受ける恐れのある場所に、“メモリースティック”を放置しないでください。データが破損する恐れがあります。
- ・プレーヤー内部を保護するため、異常が生じたときは自動的にプレーヤーの機能が止まります。画面に出たメッセージにしたがって操作しても動かないときは、故障の恐れがありますのでお買い上げの販売店にご相談ください。
- ・“メモリースティック Duo”を使用する場合は、“メモリースティック Duoアダプター”をご使用ください。
- ・128MBまでの容量の“メモリースティック”に対応しています。
- ・“メモリースティック PRO”には対応していません。
- ・“MG メモリースティック”の再生後および“MG メモリースティック”、“メモリースティック”へデータ転送後は、すみやかに“メモリースティック”を取り出してください。
- ・“MG メモリースティック”、“メモリースティック”の誤消去防止スイッチをロックすると録音やデータの保存などができなくなります。
- ・“MG メモリースティック”再生中、または録音中は抜かないでください。データが破損する恐れがあります。破損した場合、補償できませんのでご容赦ください。
- ・“MG メモリースティック”へ録音中にエンジンスイッチをOFFにしたり、エンジン始動の操作をしないでください。データが破損する恐れがあります。破損した場合、補償できませんのでご容赦ください。
- ・“MG メモリースティック”のフォーマット(初期化)は、本機で行ってください。本機以外でフォーマットを行った場合、本機で再生、または録音できません。

- ・ “メモリースティック” をフォーマット(初期化)すると内部のデータは全て(セキュリティーの登録内容や、E-iSERVからダウンロードしたデータも含む)消去されるので注意してください。
- ・ 新しくご購入されたばかりの “MG メモリースティック” は、そのままでは使用できない場合があります。その場合は、本機でフォーマットしてください。フォーマットの操作は、「 “メモリースティック” をフォーマットする」(54 ページ)を参照してください。
- ・ 録音や、データを保存した機器によっては、再生、またはデータの書き出し、取り込みをすることができない場合があります。
- ・ ラベルがはがれていたり、ネームテープ(ラベル)が貼ってある “メモリースティック” は使用しないでください。



- ・ 直射日光や湿気の多いところをさけて保管してください。 “メモリースティック” が使用できなくなる場合があります。
- ・ 持ち運びや保管の際は、付属の収納ケースに入れてください。
- ・ 端子部には、手や金属が触れないようにしてください。
- ・ 本機から “メモリースティック” を取り出すときは水平方向に引き出してください。下側に強く押しながらかき出すと “メモリースティック” 端子部にキズをつける原因となります。

“メモリースティック” の清掃

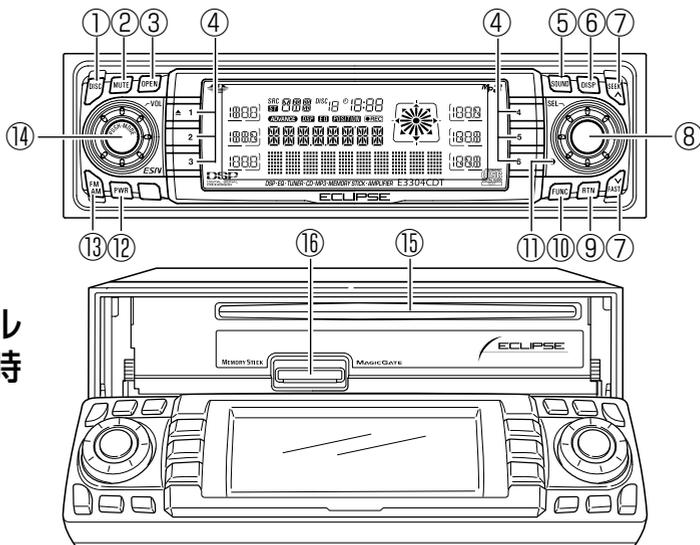


- ・ いつもよい音を楽しむため、定期的にカートリッジの表面についたホコリやゴミなどを乾いた布で拭き取ってください。
- ・ “メモリースティック” 挿入口はホコリがたまりやすいので、ときどき掃除してください。

各部の名称

本機のおもなボタンを紹介します。詳細は、各操作の説明を参照してください。(CD部の操作 32ページ、“メモリースティック”部の操作 48ページ、ラジオ部の操作 58ページ、サウンド調整モードの操作 64ページ)

本機正面



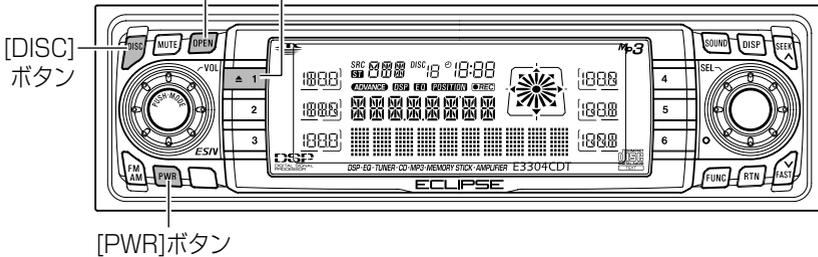
前面パネル オープン時

①	DISCボタン	ディスクモードの切り換えを行います。
②	MUTEボタン	消音または消音の解除を行います。
③	OPENボタン	CDや“メモリースティック”を挿入したり、取り出すときに押します。
④	番号ボタン	ラジオのプリセットチャンネルの選択やディスクモードでの操作を行います。
⑤	SOUNDボタン	サウンド調整モードへの切り換えを行います。
⑥	DISPボタン	ディスプレイの画質を切り換えるときに使います。
⑦	SEEK ▲/FASTV ボタン	ラジオの放送局の選択やCD、“メモリースティック”の早送り/早戻しを行います。
⑧	SELボタン	ラジオの放送局やCD、“メモリースティック”のトラックを選択するときに使います。
⑨	RTNボタン	各設定モードに戻るときに使います。
⑩	FUNCボタン	ファンクションモードへの切り換えを行います。
⑪	RESETボタン	記憶させた内容をすべて消去するときに使います。
⑫	PWRボタン	電源のON/OFFを行います。
⑬	FM AMボタン	ラジオのバンド切り換えを行います。
⑭	オーディオコントロールボタン	ボリュームの調整やその他の機能を操作するときに使います。
⑮	CD挿入口	CDを挿入します。
⑯	“メモリースティック”挿入口	“メモリースティック”を挿入します。

基本操作

本機をご利用いただくための基本的な操作について説明します。詳しくは、機能別の説明を参照してください。

[OPEN]ボタン 番号ボタン[1]



電源を入れる/切る

以下の手順で電源を入れたり(ON)、切ったり(OFF)します。
ACCポジションのない車両の場合、電源を切る際注意が必要です。
電源を切るときは、手順2、または手順3にしたがって操作してください。

1 電源がOFFの状態です[PWR] ボタンを押す

電源がONになります。



ワンポイント

本機の電源を初めてONにした時、または車両の整備などでバッテリーとの接続が外されて、再度電源をONにした時は、FM1モードで電源がONになります。その後、放送局が自動で選局されて、番号ボタン[1]～[6]に記憶されます。

2 電源がONの状態です[PWR] ボタンを短く(1秒未満)押す

電源がOFFになり、スタンバイ状態となります。

さらに[PWR]ボタンを長めに(1秒以上)押すと、電源がALL OFFになります。

3 電源がONの状態です[PWR] ボタンを長めに(2秒以上)押す

電源がALL OFFになります。



注意

欧州車などACCポジションのない車両の場合、降車の際は必ず[PWR]ボタンを長めに(2秒以上)押して電源をOFFにしてください。
バッテリーが上がる恐れがあります。

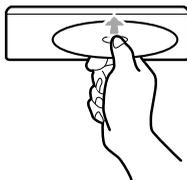
CDを聞く

1 [OPEN]ボタンを押す

前面パネルが開きます。

2 CD挿入口にレーベル面を上にしてCDを挿入する

CDが引き込まれ、自動的に演奏が始まります。



ワンポイント

- ・すでにCDが挿入されているときは、CDプレーヤーモードになるまで[DISC]ボタンを押してください。
- ・前面パネルが開いているとき、番号ボタン[1]を押すと、挿入したCDが排出されます。
- ・前面パネルが閉じているとき、番号ボタン[1]を押してもCDは排出されません。

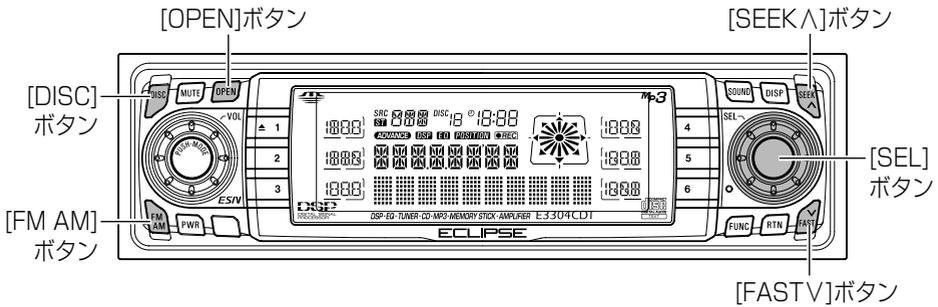
3 [OPEN]ボタンを押す

前面パネルが閉じます。



注意

- ・前面パネルを開けたまま走行しないでください。急ブレーキ時などに開いた前面パネルに体が当たるなどして思わぬけがをするおそれがあります。
- ・前面パネルを手で開閉しないでください。前面パネルが損傷するおそれがあります。

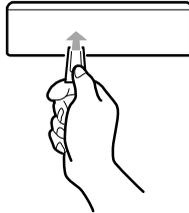


“メモリースティック” を聞く

1 [OPEN] ボタンを押す

前面パネルが開きます。

2 “メモリースティック” 挿入口に “メモリースティック” を挿入する



ワンポイント

- ・すでに“メモリースティック”が挿入されているときは、“メモリースティック”モードになるまで[DISC]ボタンを押してください。
- ・“メモリースティック”は▶マークを奥にして、「カチッ」と音がするまで挿入してください。奥のストッパーに突き当たると、それ以上は挿入できませんので、無理に力を加えないでください。（“メモリースティック”が数mmほど飛び出した状態になります。）
- ・“メモリースティックDuo”を挿入するときは、必ず“メモリースティックDuo”アダプターを取り付けてから挿入してください。（“メモリースティックDuo”のみを挿入すると取り出せないことがあります。）



注意

“メモリースティック”の挿入途中に[OPEN]ボタンを押さないでください。けがやディスプレイ部の故障の原因になります。

3 [OPEN] ボタンを押す

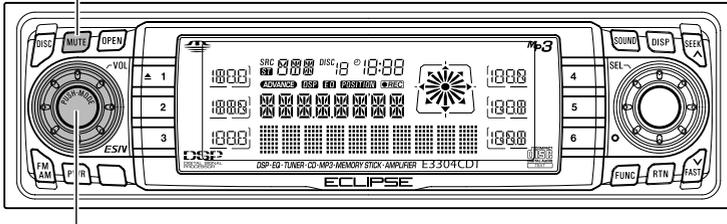
前面パネルが閉じます。

4 [DISC] ボタンを押して、“メモリースティック”モードに切り換える

ラジオを聞く

- 1 [FM AM] ボタンを押す**
ラジオモードに切り換わります。
- 2 [FM AM] ボタンを押して、FM AMバンドを切り換える**
ボタンを押すごとにFM1→FM2→AM1→AM2の順に切り換わります。
- 3 [SEL] ボタンを回す**
任意の周波数に合わせます。
右に回す ……周波数の高いほうへ移る
左に回す ……周波数の低いほうへ移る
- 4 [SEEK∧/FASTV] ボタンを押す**
電波の強い放送局を自動的に受信します。
[SEEK∧] ……周波数の高いほうへ選局
[FASTV] ……周波数の低いほうへ選局

[MUTE]ボタン



[オーディオコントロール]ボタン

音量を調節する

1 [オーディオコントロール]ボタンを左右に回す

右に回す ……音量が大きくなる
左に回す ……音量が小さくなる

瞬時に音量を小さくする

1 [MUTE]ボタンを押す

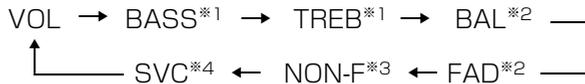
音量を大きくするには、もう一度[MUTE]ボタンを押すか、[オーディオコントロール]ボタンを右側に回します。

オーディオコントロールモードを切り換える

各モードの微調整をすることができます。

1 [オーディオコントロール]ボタンを短く(1秒未満)押す

ボタンを押すごとに、設定項目が次の順に切り換わります。



※1 ADVANCEモード時は、調整できません。(74ページ参照)

※2 ポジションセレクトがONの時は調整できません。
(73、80ページ参照)

※3 ノンフェーダー出力は、BASS、TREBLE、ラウドネス、イコライザでの調整内容を反映しません。

※4 FMモード時は設定することはできません。

VOL(VOLUME)モード

VOL(音量)を調整します。

[オーディオコントロール]ボタンを

右に回す ……音量が大きくなる

左に回す ……音量が小さくなる

BASSモード

BASS(低音)を調整します。BASSの調整値は、オーディオモード(CDプレーヤー、CD/MDチェンジャー、“メモリースティック”プレーヤー、AM、FM)ごとに記憶されます。

[オーディオコントロール]ボタンを

右に回す ……低音を強調する

左に回す ……低音を弱める

TREB(TREBLE)モード

TREB(高音)を調整します。TREBLEの調整値は、オーディオモード(CDプレーヤー、CD/MDチェンジャー、“メモリースティック”プレーヤー、AM、FM)ごとに記憶されます。

[オーディオコントロール]ボタンを

右に回す ……高音を強調する

左に回す ……高音を弱める

BAL(BALANCE)モード

左右(BALANCE)のスピーカーのバランスを調整します。

[オーディオコントロール]ボタンを

右に回す ……右のスピーカーを強調する

左に回す ……左のスピーカーを強調する

FAD(FADER)モード

前後(FADER)のスピーカーのバランスを調整します。

[オーディオコントロール]ボタンを

右に回す ……前のスピーカーを強調する

左に回す ……後ろのスピーカーを強調する

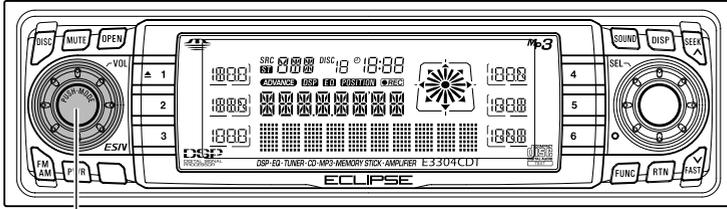
NON-F(Non-FADER)モード

ノンフェダーレベル(接続されたサブウーファなど)を調整します。

[オーディオコントロール]ボタンを

右に回す ……レベルが大きくなる

左に回す ……レベルが小さくなる



[オーディオコントロール]ボタン

SVC (Source Volume Control)モード

オーディオモードごとで音量の差を設定することができます。初期状態のFMモードの音量(初期値：40)を基準に、各オーディオモードで設定したボリューム差が記憶されます。SVCを設定すると下記の設定例のようにボリュームレベルが変化します。

設定例：

オーディオモード	FM	AM	CD	MS
初期値 (ボリュームレベル)	0 (40)	0 (40)	0 (40)	0 (40)
SVC設定 (ボリュームレベル)	基準 (40)	SVC設定値 +15 (55)	SVC設定値 -10 (30)	SVC設定値 +10 (50)
FMモードでボリュームレベル を40→45に調整したとき	45	55→60	30→35	50→55
CDモードでボリュームレベル を35→60に調整したとき	45→70	60→80*	60	55→80
AMモードでボリュームレベル を80→20に調整したとき	70→5	20	60→0*	80→15

*：ボリュームレベルは最大で80、最小で0です。最大・最小値を超える場合は、それ以上、以下には、ボリュームレベルは変化しません。CDチェンジャーのSVCは、CDプレーヤーの設定値で音量が調整されます。

[オーディオコントロール] ボタンを

右に回す ……SVC設定値が大きくなる

左に回す ……SVC設定値が小さくなる

SVC設定値は-10から+20の範囲で設定してください。



車両の整備などにより、バッテリーとの接続が断たれた時は、SVCの設定は初期状態に戻ります。この場合、再度設定をしてください。

ラウドネスを切り換える

ラウドネスを設定すると、一定のレベルで低、高音を強調します。小さな音量で聞くときにラウドネスをONにすると低、高音の不足感が補正されます。

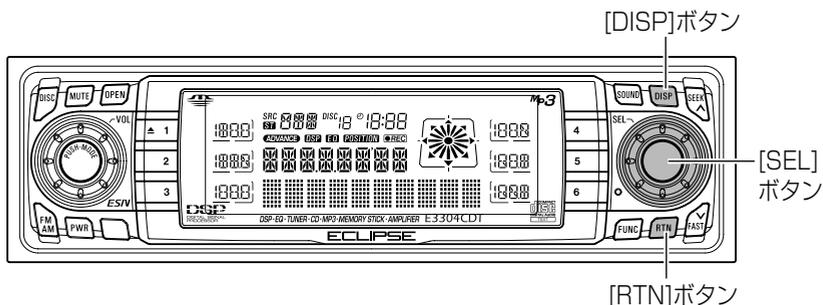
1 「LOUD ON」と表示されるまで[オーディオコントロール]ボタンを押す



ラウドネスを解除するときは、同様の操作を行い「LOUD OFF」と表示させます。



自動車の運転中に音量調整等の操作をしないでください。このような操作は、必ず安全な場所に車を停止させてから行ってください。



ディスプレイ調整モードでの設定

1 [DISP]ボタンを押す

ディスプレイ調整モードに切り換わります。

2 [SEL]ボタンを回し設定項目を選択する

[SEL]ボタンを回すごとに、設定項目が次の順に切り換わります。

コントラスト調整(CONTRAST)



ボタン照明色の切り換え(ILL COLOR)

3 [SEL]ボタンを押す

各調整モードに切り換わります。

コントラスト調整

表示部を見る角度にあわせて、表示部のコントラストを見易く調整できる機能です。

1 [SEL]ボタンを回し調整する

1～5のレベルで設定することができます。

右に回す ……………レベルが大きくなる

左に回す ……………レベルが小さくなる

2 [RTN]ボタンを押す

ディスプレイ調整モードの設定項目の選択表示に戻ります。

3 [DISP]、または[RTN]ボタンを押す

ディスプレイ調整モードが解除されます。

(2の時に[DISP]ボタンを押してもディスプレイ調整モードは解除されません。)

ボタン照明色の切り換え

ボタン照明色を切り換えることができます。



ボタンによっては照明色が切り換わらない場合があります。

1 [SEL]ボタンを回しボタン照明色を選択する

[SEL]ボタンを回すごとに、ボタン照明色が次の順に切り換わりません。

RED ←→ GREEN

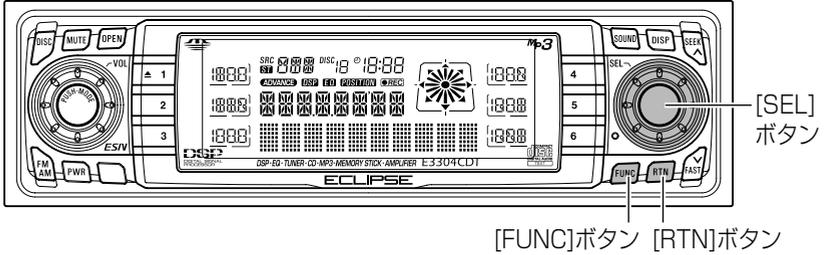
2 [RTN]ボタンを押す

ディスプレイ調整モードの設定項目の選択表示に戻ります。

3 [DISP]、または[RTN]ボタンを押す

ディスプレイ調整モードが解除されます。

(2の時に[DISP]ボタンを押してもディスプレイ調整モードは解除されません。)

[SEL]
ボタン

[FUNC]ボタン [RTN]ボタン

ファンクションモードでの設定

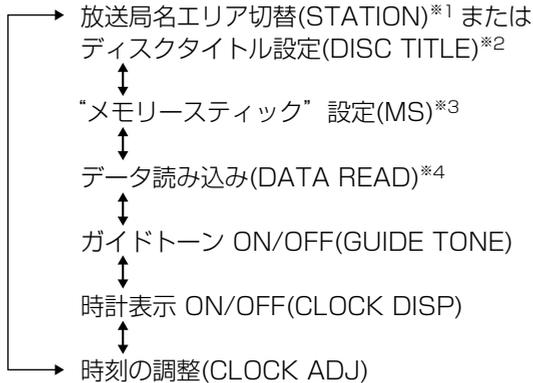
さまざまな設定を変更できます。

1 [FUNC]ボタンを短く(1秒未満)押す

ファンクションモードに切り換わります。

2 [SEL]ボタンを回し設定項目を選択する

[SEL]ボタンを回すごとに、設定項目が次の順に切り換わります。



*1 ラジオ操作時以外は設定できません。

(詳細は「ラジオ部の操作」(58ページ)を参照してください。)

*2 CDプレーヤー、またはCDチェンジャー操作時以外は設定できません。

(詳細は「CD部の操作」(32ページ)、「(別売)CDオートチェンジャー/MDチェンジャーを接続したときの操作」(102ページ)を参照してください。)

*3 録音中は設定できません。

(詳細は「メモリースティック」部の操作」(48ページ)を参照してください。)

*4 詳細は「サウンド調整モードの操作」(64ページ)を参照してください。

3 [SEL]ボタンを押す

各調整モードに切り換わります。

ガイドトーン ON/OFF

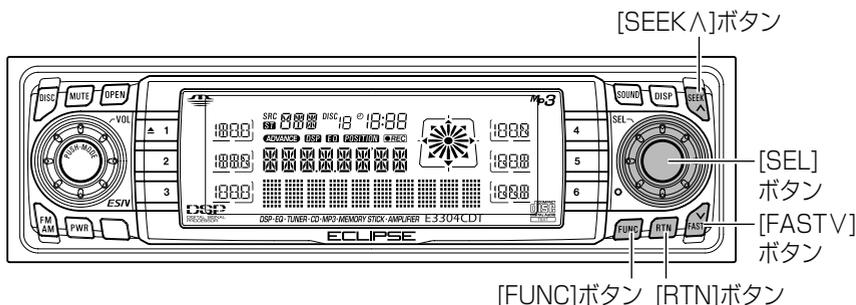
ガイドトーンのON/OFFを切り換えることができます。
お買い求めになったときは、本機を操作すると「ピッ」というガイドトーンが鳴るように設定されています。

- 1 [SEL] ボタンを回しON/OFFを切り換える**
- 2 [RTN] ボタンを押す**
ファンクションモードの設定項目の選択表示に戻ります。
- 3 [FUNC]、または[RTN] ボタンを押す**
ファンクションモードが解除されます。
(**2**の時に[FUNC] ボタンを押してもファンクションモードは解除されません。)

時計表示 ON/OFF

時計表示のON/OFFを切り換えることができます。

- 1 [SEL] ボタンを回しON/OFFを切り換える**
- 2 [RTN] ボタンを押す**
ファンクションモードの設定項目の選択表示に戻ります。
- 3 [FUNC]、または[RTN] ボタンを押す**
ファンクションモードが解除されます。
(**2**の時に[FUNC] ボタンを押してもファンクションモードは解除されません。)



時刻の調整

本機は、12時間表示になっています。

1 [SEL]ボタンを回し調整する項目を選択する

ボタンを回すたびに、時、分、正時が切り換わります。

2 [SEEK^/FASTV]ボタンを押して調整する

[SEEK^]ボタン……………選択されている時間または分が増える

[FASTV]ボタン……………選択されている時間または分が減る



ワンポイント

00分00秒(正時)に時計を合わせる時は、30分単位で次のように切り換わります。

例)

3 : 29 → [SEEK^/FASTV]ボタン → 3 : 00

3 : 30 → [SEEK^/FASTV]ボタン → 4 : 00

3 [RTN]ボタンを押す

ファンクションモードの設定項目の選択表示に戻ります。

4 [FUNC]、または[RTN]ボタンを押す

ファンクションモードが解除されます。

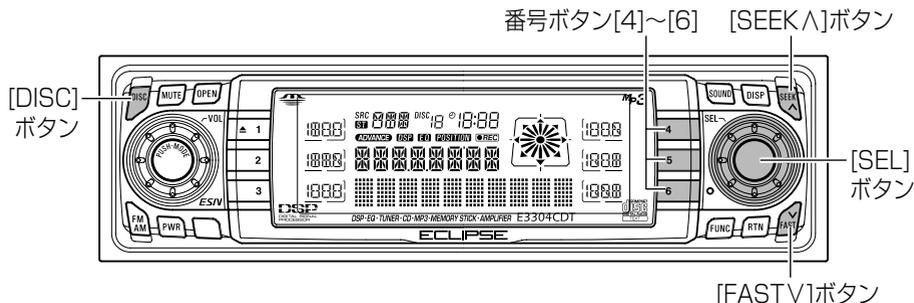
(3の時に[FUNC]ボタンを押してもファンクションモードは解除されません。)

操作アシスト機能について

ディスプレイ調整モード、ファンクションモード、サウンド調整モード時に、使用するボタンが点滅して、操作が可能なボタンを示します。

CD部の操作

ここでの操作は、すでにCDが挿入されていることを前提に説明します。



CDを聞く

- 1 [DISC] ボタンを短く(1秒未満)押して、CDモードに切り換える

ディスクモードに切り換わり、演奏が始まります。

[DISC]ボタンを押すごとに、CDプレーヤー(CDP)→ CDオートチェンジャー(CDC)→ “メモリースティック”(MS)→ MDチェンジャー(MDC)の順に切り換わります。

別売のCDオートチェンジャーやMDチェンジャーを接続している場合は、(別売)CDオートチェンジャー/MDチェンジャーを接続したときの操作(98ページ)を参照してください。

ディスクが挿入されていない、または接続されていない機器は、飛ばして切り換わります。



注意

CDにキズや汚れがあると、演奏中に音が途切れることがあります。

次の曲に進む/曲の頭に戻る

次の曲や演奏中の曲の頭へ移動します。

- 1 [SEL] ボタンを回す

右に回す ……次の曲に進む

左に回す ……演奏中の曲の頭(繰り返し回すと前の曲)に戻る

早送り・早戻しする

1 [SEEK∧/FASTV]ボタンを押しつづける

[SEEK∧]ボタン ……早送りする

[FASTV]ボタン ……早戻しする

曲の始まりを演奏する(SCAN^{スキャン})

1 番号ボタン[4]を押す

演奏しているディスク全曲の始まりを10秒間ずつ演奏します。
再度番号ボタン[4]を押すと解除されます。

繰り返し演奏する(REPEAT^{リピート})

1 番号ボタン[5]を押す

演奏中の曲を繰り返し演奏します。
再度番号ボタン[5]を押すと解除されます。

曲の順番を変えて演奏する(RANDOM^{ランダム})

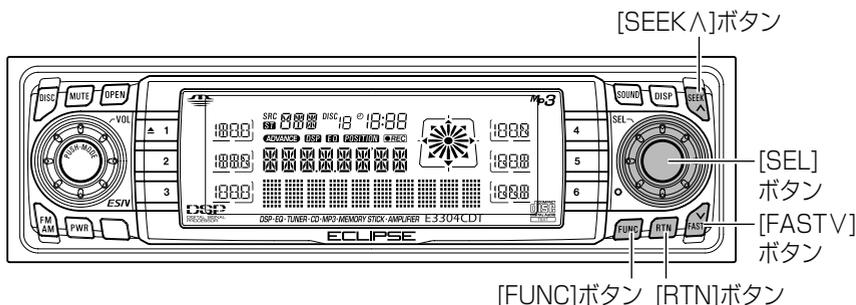
1 番号ボタン[6]を押す

演奏中のディスク内の曲を順不同に演奏します。
再度番号ボタン[6]を押すと解除されます。



ワンポイント

- ・「RANDOM」を選択中に、番号ボタン[5]を押すと、再生中の曲が繰り返し演奏されます。また、再生中にもう一度番号ボタン[5]を押すと、「RANDOM」に戻ります。
- ・繰り返し再生される曲は下記になります。
 - ・曲を再生しているとき：再生している曲を繰り返し演奏します。
 - ・次の曲に切り換わるとき：切り換わる次の曲を演奏します。
- ・まれに同じ曲が続けて演奏(選択)されることがありますが、故障ではありません。
- ・「曲の始まりを演奏する」、「繰り返し演奏する」、「曲の順番を変えて演奏する」を選択すると表示部に「SCN」、「RPT」、「RND」などの文字が表示され、使用中の機能を確認することができます。



CDのタイトルを設定する

CDにタイトルをつけ、表示することができます。



ワンポイント

- ・最大で30枚分のタイトル記憶させることができます。
- ・タイトルは、最大12文字まで入力できます。
- ・CD TEXTにタイトルまたは曲名が記録されているときは、この機能はご使用になれません。

タイトルを設定したいディスクを挿入して以下の動作を行ってください。

- 1 [FUNC]ボタンを短く(1秒未満)押す**
ファンクションモードに切り換わります。
- 2 [SEL]ボタンを回し「DISC TITLE」を選択して、[SEL]ボタンを押す**
ディスクタイトル設定モードになります。
- 3 [SEEK^]ボタンを押して、入力する文字の種類を選択する**
ボタンを押すと「ABC」(大文字アルファベット)、「アイウ」(カナ)、「123」(数字)、「! ? #」(記号)の順に表示が切り換わります。

4 [SEL]、または[FASTV]ボタンを押して、入力する文字位置を選択する

点滅している位置に文字が入力されます。

[SEL]ボタン ……………右に進む

[FASTV]ボタン ……左に戻る

5 [SEL]ボタンを回して文字を選択する

右に回す ……………次の文字に進む

左に回す ……………前の文字に戻る

[大文字/アルファベット]初期値[A] 【右方向】

A → B → C → …X → Y → Z

[カタカナ]初期値[ア] 【右方向】

ア → イ → ウ → エ → オ → …ワ → ヲ → ア → イ → ウ → エ → オ → ヤ → ユ → ヨ → ツ → …。

[数字]初期値[1] 【右方向】

1 → 2 → 3 → …8 → 9 → 0

[記号]初期値[!] 【右方向】

! → * → # → \$ → % → & → ' → (→) → * → + → , → - → . → / → : → ; → < → = → > → ? → @ → ' → _



ワンポイント

- ・入力する文字の種類を変更するときは、**3**～**5**の手順を繰り返してください。
- ・文字は最大12文字まで入力できます。

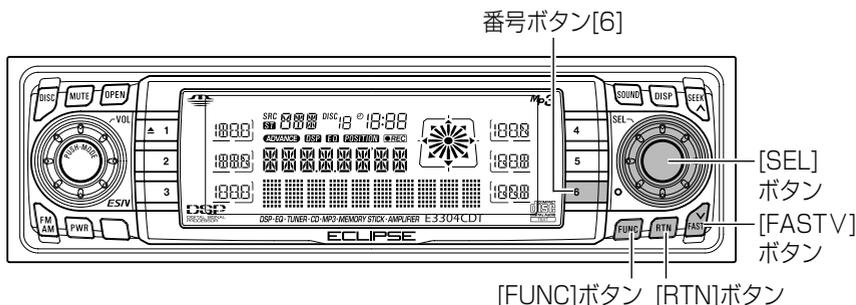
6 [RTN]ボタンを押す

ファンクションモードの設定項目の選択表示に戻ります。

7 [FUNC]、または[RTN]ボタンを押す

ファンクションモードが解除されます。

(**6**の時に[FUNC]ボタンを押してもファンクションモードは解除されません。)

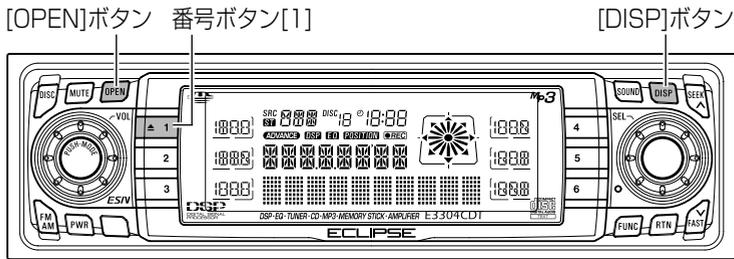


設定したタイトルを変更する

- 1** [FUNC]ボタンを短く(1秒未満)押す
ファンクションモードに切り換わります。
- 2** [SEL]ボタンを回し「DISC TITLE」を選択して、[SEL]ボタンを押す
ディスクタイトル設定モードになります。
- 3** [SEL]、または[FASTV]ボタンを押して、変更したい文字を点滅させる
[SEL]ボタン ……………右に進む
[FASTV]ボタン……………左に戻る
- 4** [SEL]ボタンを回して、入力する文字を選択する
右に回す ……………次の文字に進む
左に回す ……………前の文字に戻る
- 5** [RTN]ボタンを押す
ファンクションモードの設定項目の選択表示に戻ります。
- 6** [FUNC]、または[RTN]ボタンを押す
ファンクションモードが解除されます。
(5の時に[FUNC]ボタンを押してもファンクションモードは解除されません。)

設定したタイトルを削除する

- 1** [FUNC]ボタンを短く(1秒未満)押す
ファンクションモードに切り換わります。
- 2** [SEL]ボタンを回し「DISC TITLE」を選択して、[SEL]ボタンを押す
ディスクタイトル設定モードになります。
- 3** 「DELETE」と表示されるまで番号ボタン[6]を押す
- 4** [RTN]ボタンを押す
ファンクションモードの設定項目の選択表示に戻ります。
- 5** [FUNC]、または[RTN]ボタンを押す
ファンクションモードが解除されます。
(**4**の時に[FUNC]ボタンを押してもファンクションモードは解除され
ます。)



CD TEXTの表示について

CD TEXTにタイトル名や曲名などが記録されているときは、それらを表示させることができます。表示部には、最大10文字まで表示されます。

1 [DISP]ボタンを長めに(2秒以上)押す

ディスクタイトルがスクロール表示された後にトラックタイトルがスクロール表示されます。

トラックタイトルがスクロール表示された後、固定表示になります。



- ・入力した機器によって、タイトルが正常に表示されないことがあります。
- ・ディスクによって全てのタイトル文字が表示されないことがあります。

ディスクを取り出す

1 [OPEN]ボタンを押す

前面パネルが開きます。

2 番号ボタン[1]を押す

挿入されていたCDが排出されます。

3 CDを取り出し、[OPEN]ボタンを押す

前面パネルが閉じます。15秒以上CDが取り出されなかった場合、ブザーが鳴りCDが再び引き込まれ、前面パネルが閉じます。



注意

- ・前面パネルを開けたまま走行しないでください。急ブレーキ時などに開いた前面パネルに体が当たるなどして思わぬけがをするおそれがあります。
- ・前面パネルを手で開閉しないでください。前面パネルが損傷するおそれがあります。
- ・CDが排出された状態で前面パネルを閉じると、CDおよび前面パネルが損傷するおそれがあります。必ず取り出してから閉じてください。

MP3の操作

MP3について



MP3ファイルを作成する場合、放送やレコード、録音物、録画物、実演などを録音したものは、個人として楽しむほかは、著作権法上、権利者に無断では使用できません。

MP3とは？

MP3(MPEG Audio レイヤ3)は音声圧縮技術に関する標準フォーマットです。MP3を使用すれば、元のファイルを約1/10のサイズに圧縮することができます。

本機で使用できるMP3ファイルの規格やそれを記録したメディア、フォーマットに制限があります。

再生可能なMP3ファイルの規格について

- 対応規格 : MPEG-1 Audio レイヤ3
- 対応サンプリング周波数 : 44.1、48 (kHz)
- 対応ビットレート : 64、80、96、112、128、160、192、224、256、320 (kbps)
※VBRに対応しています。
(64~320kbps)
※フリーフォーマットには対応していません。
- 対応チャンネルモード : ステレオ

ID3タグについて

MP3ファイルには、ID3タグと呼ばれる付属文字情報を入力することができます。曲のタイトルなどを保存することができます。

本機はID3v1.0、ID3v1.1のID3タグに対応しています。ID3タグは、最大30文字まで表示することができます。

使用できるメディアについて

MP3の再生に使用できるメディアはCD-RおよびCD-RWです。

なお、CD-Rは通常の音楽CDに使用されているCD-ROMに比べ高温多湿環境に弱く、一部のCD-Rは再生できない場合があります。また、ディスクに指紋やキズを付けた場合、再生できない場合や音飛びする場合があります。

一部のCD-Rは長時間の車内環境において劣化するものがあります。

なお、CD-Rは紫外線に弱いため、光を通さないケースに保管することをおすすめします。

使用できるディスクのフォーマットについて

使用できるディスクのフォーマットは拡張フォーマットを除いたISO9660レベル1およびレベル2です。

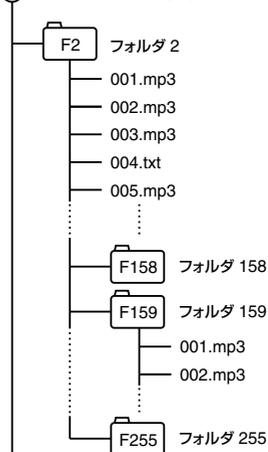
上記フォーマット以外で書き込まれたMP3ファイルは正常に再生できなかったり、ファイル名やフォルダ名などが正しく表示されない場合があります。

規格ならびに制限事項は次のとおりです。

- 最大ディレクトリ階層 : 8階層
- 最大フォルダ名/ファイル名文字数 : 半角32文字(区切り文字 “.” + 拡張子3文字を含む)
- フォルダ名/ファイル名使用可能文字 : A～Z、0～9、_(アンダースコア)
- 1枚のディスクに書き込み可能なファイルとフォルダの総数 : 512個

<MP3対応CDの構造例>

◎ ルートディレクトリ(F1)



1枚のディスクに書き込み可能なファイルとフォルダの総数は512個。
MP3以外のファイル(例：004.txtなど)も1個のファイルとして数えられます。

●一枚のディスクに書き込み可能なフォルダの総数：255個

●本機で認識できるフォルダ数の上限：256個*

※ルートディレクトリも1個のフォルダとして数えられます。

ファイル名について

MP3と認識し再生するファイルはMP3の拡張子“.mp3”が付いたものだけです。MP3ファイルには、“mp3”の拡張子を付けて保存してください。拡張子名“mp”は大文字でも小文字でもかまいません。



注意

MP3以外のファイルに“.mp3”の拡張子を付けると、MP3ファイルと誤認識して再生してしまい、大きな雑音が出てスピーカーを破損する場合があります。MP3以外のファイルに、“mp3”の拡張子を付けしないでください。

マルチセッションについて

マルチセッションに対応しており、MP3ファイルを追記したCD-RおよびCD-RWの再生が可能です。ただし、“Track at once”で書き込んだ場合、セッションクローズや追記禁止のファイナライズ処理をしてください。

また、セッション毎にフォーマットを変更しないで、統一したフォーマットで作成してください。

MP3の再生について

MP3ファイルが収録されているディスクを挿入すると、最初にディスク内のすべてのファイルをチェックします。ディスク内のファイルをチェックしている間、音は出ません。

ファイルのチェックを早く終わらせるためにMP3ファイル以外のファイルや必要のないフォルダなどを書き込まないことをおすすめします。

MP3の演奏時間表示について

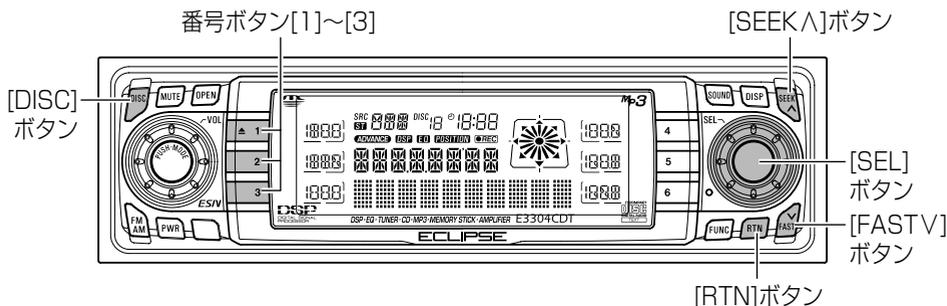
MP3ファイルの書き込み状況により、演奏時間が一致しないことがあります。

※VBRのFAST UP/DOWN動作をすると演奏時間が一致しないことがあります。

MP3ファイル、フォルダの演奏順番

同じ階層に複数のMP3音楽ファイルやフォルダが存在する場合、数字、アルファベットの昇順に再生します。

ここでの操作は、すでにMP3ファイルが収録されているCDが挿入されていることを前提に説明します。



MP3を聞く

1 [DISC] ボタンを短く(1秒未満)押して、CDモードに切り換える

ディスクモードに切り換わり、演奏が始まります。

[DISC] ボタンを押すごとに、CDプレーヤー(CDP)→ CDオートチェンジャー(CDC)→ “メモリースティック”(MS)→ MDチェンジャー(MDC)の順に切り換わります。

ディスクが挿入されていない、または接続されていない機器は、飛ばして切り換わります。



ワンポイント

- ・別売のCDオートチェンジャーでMP3ファイルを再生することはできません。
- ・通常に録音された音楽データ(CD-DA)とMP3音楽ファイルが混在している時は、通常に録音された音楽データを再生します。MP3音楽ファイルを再生する時は、番号ボタン[3]を長めに(1秒以上)押ししてください。



注意

CDにキズや汚れがあると、演奏中に音が途切れることがあります。

次のファイルに進む/ファイルの頭に戻る

次のファイルや演奏中のファイルの頭へ移動します。

1 [SEL]ボタンを回す

- 右に回す ……次のファイルに進む
- 左に回す ……演奏中のファイルの頭(繰り返し回すと前のファイル)に戻る

次のフォルダに進む/前のフォルダに戻る

次のフォルダや前のフォルダへ移動します。

1 番号ボタン[1]または[2]を押す

- 番号ボタン[1] ……次のフォルダに進む
- 番号ボタン[2] ……前のフォルダに戻る

早送り・早戻しする

1 [SEEK^/FASTV]ボタンを押しつづける

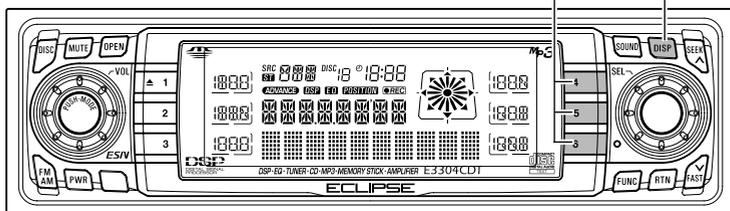
- [SEEK^]ボタン ……早送りする
- [FASTV]ボタン ……早戻しする

ルートディレクトリへ戻る

ルートディレクトリに再生可能なファイルがない場合は、再生可能な一番最初のファイルに戻ります。(MP3対応CDの構造例の場合、フォルダ2の001.mp3ファイルに戻ります。42ページ参照)

1 [RTN]ボタンを押す

番号ボタン[4]~[6] [DISP]ボタン



曲の始まりを演奏する(スキャン(SCAN))

1 番号ボタン[4]を押す

短く(1秒未満)押すと、演奏中のフォルダとその下の階層にある全ファイルを曲の始めの10秒間だけ演奏します。

長めに(1秒以上)押すと、全フォルダの1曲目を10秒間だけ演奏します。再度番号ボタン[4]を押すと解除されます。

繰り返し演奏する(リピート(REPEAT))

1 番号ボタン[5]を押す

短く(1秒未満)押すと、演奏中のファイルを繰り返し演奏します。

長めに(1秒以上)押すと、演奏中のフォルダとその下の階層にある全ファイルを繰り返し演奏します。

再度番号ボタン[5]を押すと解除されます。

曲の順番を変えて演奏する (RANDOM)

1 番号ボタン[6]を押す

短く(1秒未満)押すと、演奏中のフォルダとその下の階層にあるファイルを順不同に演奏します。

長めに(1秒以上)押すと、全フォルダのファイルを順不同に演奏します。再度番号ボタン[6]を押すと解除されます。



ワンポイント

- ・「RANDOM」を選択中に、番号ボタン[5]を押すと、再生中の曲が繰り返し演奏されます。また、再生中にもう一度番号ボタン[5]を押すと、「RANDOM」に戻ります。

繰り返し再生される曲は下記になります。

- ・曲を再生しているとき：再生している曲を繰り返し演奏します。
- ・次の曲に切り換わるとき：切り換わる次の曲を演奏します。
- ・まれに同じ曲が続けて演奏(選択)されることがありますが、故障ではありません。
- ・「曲の始まりを演奏する」、「繰り返し演奏する」、「曲の順番を変えて演奏する」を選択すると表示部に「SCN」、「RPT」、「RND」などの文字が表示され、使用中の機能を確認することができます。

MP3演奏時の表示を切り換える

1 [DISP]ボタンを長めに(1秒以上)押す

ボタンを押すごとに、次のように表示を切り換えることができます。

フォルダ名/ファイル名* ↔ ID3タグ

※：フォルダ名がスクロール表示された後にファイル名がスクロール表示されます。ファイル名がスクロール表示された後、固定表示になります。

“メモリースティック”部の操作

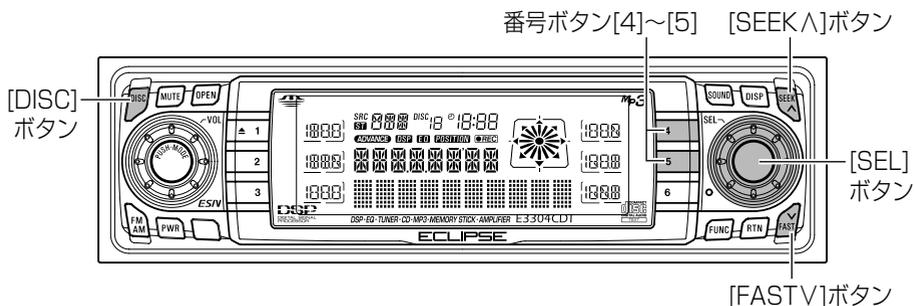
本機は、ATRAC3(オーディオ圧縮技術)で“MGメモリースティック”に記録された音楽データを再生することができます。

ここでの操作は、すでに“メモリースティック”が挿入されていることを前提に説明します。



ワンポイント

- ・ “MGメモリースティック” にアーティスト名や曲名(トラック名称)などが記録されているときは表示することができます。また、表示文字数は10文字まで表示できます(英数のみ)。
- ・ ATRAC3 Plusで記録された音楽データは再生することができません。
- ・ MP3で記録された音楽データは再生することができません。



“メモリースティック”を聞く

- 1 [DISC] ボタンを短く(1秒未満)押して、“メモリースティック”モードに切り換える

“メモリースティック”モードに切り換わり、演奏が始まります。

[DISC]ボタンを押すごとにCDプレーヤー(CDP)→CDオートチェンジャー(CDC)→“メモリースティック”(MS)→MDチェンジャー(MDC)の順に切り換わります。

ディスクが挿入されていない、または接続されていない機器は、飛ばして切り換わります。

次の曲に進む/曲の頭に戻る

次の曲や演奏中の曲の頭へ移動します。

1 [SEL]ボタンを回す

右に回す ……次の曲に進む

左に回す ……演奏中の曲の頭(繰り返し回すと前の曲)に戻る

早送り・早戻しする

1 [SEEK∧/FASTV]ボタンを押しつづける

[SEEK∧]ボタン ……早送りする

[FASTV]ボタン ……早戻しする

曲の始まりを演奏する(SCAN^{スキャン})

1 番号ボタン[4]を押す

演奏している“メモリースティック”全曲の始まりを10秒間ずつ演奏します。

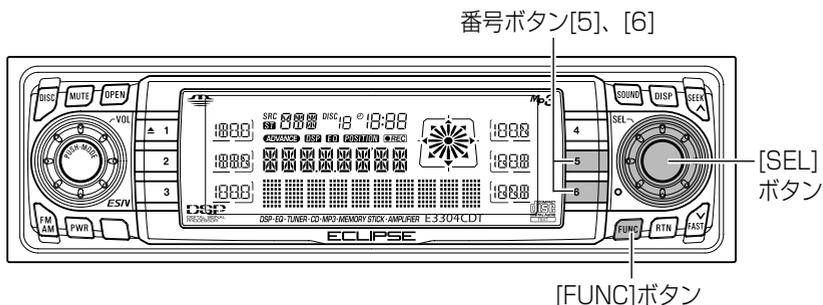
再度番号ボタン[4]を押すと解除されます。

繰り返し演奏する(REPEAT^{リピート})

1 番号ボタン[5]を押す

演奏中の曲を繰り返し演奏します。

再度番号ボタン[5]を押すと解除されます。



曲の順番を変えて演奏する(ランダム)

1 番号ボタン[6]を押す

演奏中の“メモリスティック”内の曲を順不同に演奏します。
再度番号ボタン[6]を押すと解除されます。



ワンポイント

- ・「RANDOM」を選択中に、番号ボタン[5]を押すと、再生中の曲が繰り返し演奏されます。また、再生中にもう一度番号ボタン[5]を押すと、「RANDOM」に戻ります。

繰り返し再生される曲は下記になります。

- ・曲を再生しているとき：再生している曲を繰り返し演奏します。
- ・次の曲に切り換わるとき：切り換わる次の曲を演奏します。
- ・まれに同じ曲が続けて演奏(選択)されることがありますが、故障ではありません。
- ・「曲の始まりを演奏する」、「繰り返し演奏する」、「曲の順番を変えて演奏する」を選択すると表示部に「SCN」、「RPT」、「RND」などの文字が表示され、使用中の機能を確認することができます。

“メモリースティック”へ録音する

本機は、内蔵のCDプレーヤーで再生している音楽をATRAC3圧縮技術で圧縮し、“MGメモリースティック”に録音することができます。音楽CD以外からは録音することはできません。

ノンストップCDなどを録音した場合、トラックが正確に区切れない場合があります。

SCMS(シリアルコピーマネジメントシステム)に対応しているため、音楽CDなどからデジタル録音したもの(CD-R、CD-RWなど)を、“MGメモリースティック”に録音することはできません。また、録音が禁止されている音楽CDからも録音することはできません。



注意

- ・本機の故障、誤作動または不具合により録音できなかった録音内容、および消失した音楽・音声データについては保証できません。
- ・あなたが録音したものは、個人として楽しむなどのほか、著作権法上、権利者に無断で使用できません。
- ・録り直しのきかない録音の場合は、必ず事前に試し録りをし、音楽・音声データが正しく録音されていることを確認してください。
- ・録音中に本機の電源をOFF、またはエンジンスイッチの操作を行わないでください。
データが破損する恐れがあります。本機の電源をOFF、またはエンジンスイッチの操作を行うときは必ず録音を中止([FUNC]ボタンを1秒以上押す)してから操作してください。

1 録音する“MGメモリースティック”と音楽CDを挿入する

2 CDモードで[FUNC]ボタンを長めに(1秒以上)押す

“メモリースティック”への録音を開始されます。

録音方式の設定で録音対象曲を「1 TRACK」に選択した場合は、[SEL]ボタンで選曲して、録音を開始してください。

録音対象曲の演奏が終了すると、録音も終了します。

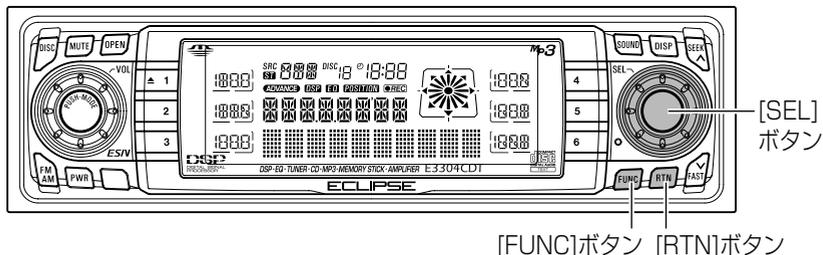
録音対象曲の設定については、「録音対象曲の選択」(53ページ)を参照してください。

再度[FUNC]ボタンを長めに(1秒以上)押すと録音が中止されます。



ワンポイント

曲の途中で録音を中止すると、その曲は録音されません。



録音方式の設定

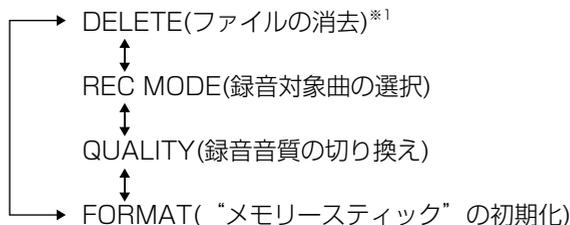
“MGメモリースティック”の録音方式を切り換えることができます。

- 1 [FUNC]ボタンを短く(1秒未満)押す
ファンクションモードに切り換わります。
再度[FUNC]ボタンを押すと解除されます。
- 2 [SEL]ボタンを回し「メモリースティック設定(MS)」を選択する



録音中は“メモリースティック”設定モードを選択することはできません。

- 3 [SEL]ボタンを押す
“メモリースティック”設定モードに切り換わります。
- 4 [SEL]ボタンを回し設定項目を選択する
[SEL]ボタンを回すごとに、設定項目が次の順に切り換わり、選択された項目は文字が反転します。



※1 “メモリースティック”再生時のみ選択できます。再生時以外は表示されません。

- 5 [SEL]ボタンを押す
各設定モードに切り換わります。

録音対象曲の選択

録音する曲を選択します。

1 [SEL] ボタンを回し設定項目を選択する

ボタンを回すごとに、録音対象曲モードが次の順に切り換わります。

ALL(ディスク内の全曲を録音)



1TRACK(選択したトラックのみ録音)

2 [RTN] ボタンを押す

“メモリースティック”設定モードの設定項目の選択表示に戻ります。

3 [RTN] ボタンを押す

ファンクションモードの設定項目の選択表示に戻ります。

4 [FUNC]、または[RTN] ボタンを押す

ファンクションモードが解除されます。

(2、3の時に[FUNC]ボタンを押してもファンクションモードは解除されず。)

録音音質の切り換え

録音するときの音質(録音ビットレート)を設定します。録音ビットレートは66Kbps、105Kbps、132Kbpsから選択でき、数字が大きくなるほど、音質は良くなりますが、データ量も大きくなります。

1 [SEL] ボタンを回し録音ビットレートを選択する

ボタンを回すごとに、録音ビットレートが次の順に切り換わります。



2 [RTN] ボタンを押す

“メモリースティック”設定モードの設定項目の選択表示に戻ります。

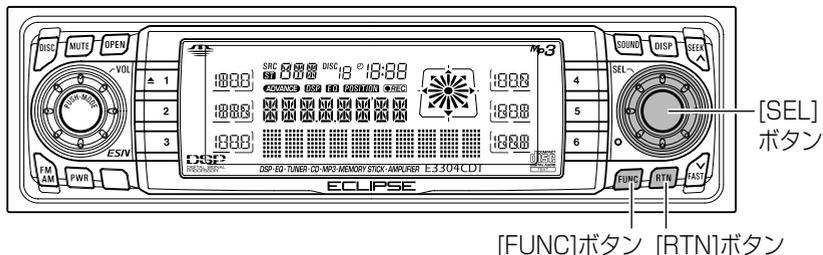
3 [RTN] ボタンを押す

ファンクションモードの設定項目の選択表示に戻ります。

4 [FUNC]、または[RTN] ボタンを押す

ファンクションモードが解除されます。

(2、3の時に[FUNC]ボタンを押してもファンクションモードは解除されず。)



“メモリースティック”をフォーマットする

“メモリースティック”のフォーマット(初期化)をすることができます。



- ・新しくご購入されたばかりの“MGメモリースティック”は、そのままでは使用できない場合があります。その場合、本機でフォーマットすることにより、音楽を録音できる状態にする(Hi-Fiディレクトリのフォーマット)ことができます。
- ・“MGメモリースティック”専用機器以外でフォーマットされた場合、本機で使用できない場合があります。
- ・フォーマットすると“メモリースティック”内のデータが全て(セキュリティーの登録内容やE-iSERVからダウンロードしたデータも含む)消去されます。
- ・フォーマット中に本機の電源をOFF、またはエンジンスイッチの操作を行わないでください。データが破損する恐れがあります。

1 [FUNC]ボタンを短く(1秒未満)押す

ファンクションモードに切り換わります。

2 [SEL]ボタンを回し「“メモリースティック”設定(MS)」を選択する

3 [SEL]ボタンを押す

“メモリースティック”設定モードに切り換わります。

4 [SEL]ボタンを回し「FORMAT」を選択する

5 [SEL]ボタンを押す

ディスプレイに「OK」が表示されます。

“メモリースティック”のフォーマットを中止したいときは、[RTN]ボタンを押すと、“メモリースティック”設定モードの設定項目の選択表示に戻ります。

6 [SEL]ボタンを長めに(2秒以上)押す

“メモリースティック”がフォーマットされます。

7 [RTN]ボタンを押す

“メモリースティック”設定モードの設定項目の選択表示に戻ります。

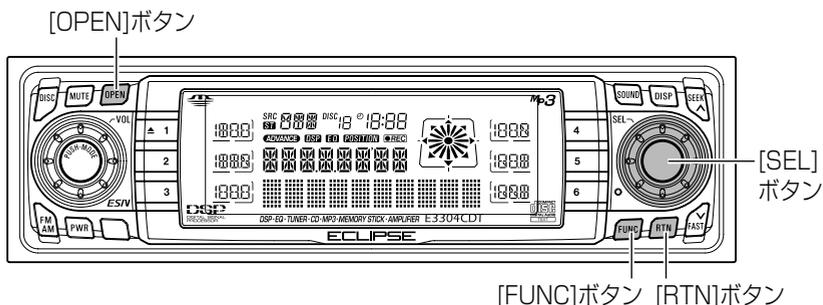
8 [RTN]ボタンを押す

ファンクションモードの設定項目の選択表示に戻ります。

9 [FUNC]、または[RTN]ボタンを押す

ファンクションモードが解除されます。

(**7**、**8**の時に[FUNC]ボタンを押してもファンクションモードは解除されません。)



ファイルを消去する

“メモリースティック”再生時に再生中のファイルを消去します。

- 1 [FUNC]ボタンを短く(1秒未満)押す
ファンクションモードに切り換わります。
- 2 [SEL]ボタンを回し「“メモリースティック”設定(MS)」を選択する
- 3 [SEL]ボタンを押す
“メモリースティック”設定モードに切り換わります。
- 4 [SEL]ボタンを回し「DELETE」を選択する
- 5 [SEL]ボタンを押す
ディスプレイに「OK」が表示されます。
ファイルの消去を中止したいときは、[RTN]ボタンを押すと、“メモリースティック”設定モードの設定項目の選択表示に戻ります。
- 6 [SEL]ボタンを長めに(2秒以上)押す
再生中のファイルが消去されます。
- 7 [RTN]ボタンを押す
“メモリースティック”設定モードの設定項目の選択表示に戻ります。
- 8 [RTN]ボタンを押す
ファンクションモードの設定項目の選択表示に戻ります。
- 9 [FUNC]、または[RTN]ボタンを押す
ファンクションモードが解除されます。
(7、8の時に[FUNC]ボタンを押してもファンクションモードは解除されません。)

“メモリースティック”を取り出す

1 [OPEN]ボタンを押す

前面パネルが開きます。

2 “メモリースティック”を軽く1回押して取り出す

3 [OPEN]ボタンを押す

前面パネルが閉じます。

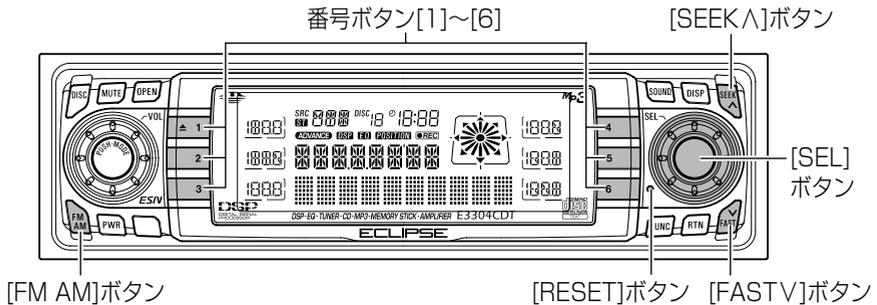


注意

- ・ 前面パネルを開けたまま走行しないでください。急ブレーキ時などに開いた前面パネルに体が当たるなどして思わぬけがをするおそれがあります。
- ・ 前面パネルを手で開閉しないでください。前面パネルが損傷するおそれがあります。
- ・ “メモリースティック”が排出された状態で前面パネルを閉じると、“メモリースティック”および前面パネルが損傷するおそれがあります。必ず取り出してから閉じてください。
- ・ “メモリースティック”のアクセスランプ(挿入口)点灯中は取り出さないでください。データが破損する恐れがあります。

ラジオ部の操作

本機は、自動と手動の2通りの方法で放送局を記憶することができます。
AM1、2に各6局、FM1、2に各6局の合計24局を記憶することができます。



ラジオを聞く

すでに放送局を記憶させている場合は、任意の番号ボタンを押すと記憶させた放送局を受信することができます。

1 [FM AM]ボタンを押す

ラジオモードに切り換わります。

2 [FM AM]ボタンを押してFM AMバンドを切り換える

ボタンを押すごとにFM1→FM2→AM1→AM2の順に切り換わります。

3 [SEL]ボタンを回す

任意の周波数に合わせます。

右に回す ……周波数の高いほうへ移る

左に回す ……周波数の低いほうへ移る

4 [SEEK∧/FASTV]ボタンを押す

電波の強い放送局を自動的に受信します。

[SEEK∧]ボタン ……周波数の高いほうへ選局

[FASTV]ボタン ……周波数の低いほうへ選局

自動的に放送局を記憶させる

[FM AM]ボタンを押して、FMまたはAM放送を選んでおきます。

1 [SEL]ボタンを長めに(2秒以上)押す

「ASM ON」と表示され、受信電波の強い局が周波数の低い方から高い方へ順に番号ボタン[1]～[6]に記憶されます。このボタンをプリセットボタンと呼びます。

動作終了後は、「ASM ON」の表示が消え、最後に記憶された放送局を受信し続けます。

以後、ラジオをお聞きになる場合は、プリセットボタンを押してワンタッチで選局できるようになります。



ワンポイント

- ・ASMとは、オートステーションメモリーの略です。
- ・受信電波が6局未満のときは、残りのプリセットボタンは変更されません。



注意

車両の整備、本機の取り外しなどによってバッテリーとの接続が断たれたとき、または、[RESET]ボタンを操作したときは、プリセットボタンへの記憶は消去されます。この場合は、改めて放送局を記憶させてください。

手動で放送局を記憶させる

[FM AM]ボタンを押して、FMまたはAM放送を選んでおきます。

1 [SEL]ボタンを回して記憶させる周波数に合わせる

2 任意の番号ボタン[1]～[6]を長めに(2秒以上)押す

選択した放送局が番号ボタンに記憶され、表示部に周波数が表示されません。

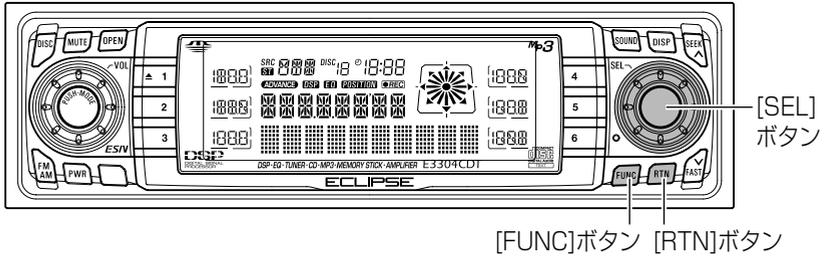
このボタンをプリセットボタンと呼びます。

以後、ラジオをお聞きになる場合は、プリセットボタンを押してワンタッチで選局できるようになります。



注意

車両の整備、本機の取り外しなどによってバッテリーとの接続が断たれたとき、または、[RESET]ボタンを操作したときは、プリセットボタンへの記憶は消去されます。この場合は、改めて放送局を記憶させてください。



記憶させた放送局を確認する

自動または手動で記憶させた放送局を呼び出し、5秒間ずつ受信します。

1 [SEL] ボタンを短く(1秒未満)押す

プリセットスキャンが始まります。
周波数とプリセットチャンネルが表示されます。

2 再度[SEL] ボタンを短く(1秒未満)押す

通常の状態に戻ります。

放送局名を表示する(放送局のエリア設定)

受信した周波数に対応する放送局名を表示します。
表示する放送局名は各地域で異なりますのでお使いのエリアを選択してください。



選択したエリアにその周波数がない場合、放送局名は表示されません。



エリアを選択しても、そのエリアでの周波数をプリセットするものではありません。

1 [FUNC] ボタンを押す

ファンクションモードに切り換わります。

2 [SEL] ボタンを回し「STATION」を選択する

3 [SEL] ボタンを押す

放送局名エリア切り換えモードに切り換わります。

4 [SEL]ボタンを回し使用するエリアを選択する

ボタンを回すごとに、次の順に切り換わります。

エリア名	対象となる都道府県
ホッカイドウ	北海道
トウホク	青森、岩手、宮城、秋田、山形、福島
カントウ	茨城、栃木、群馬、埼玉、千葉、東京、神奈川、新潟、山梨、長野
チュウブ	岐阜、愛知、三重、富山、石川、福井、静岡
キンキ	滋賀、京都、大阪、兵庫、奈良、和歌山
チュウゴク	鳥取、島根、岡山、広島、山口
シコク	徳島、香川、愛媛、高知
キュウシュウ	福岡、佐賀、長崎、熊本、大分、宮崎、鹿児島、沖縄
セツテイナシ	

5 [RTN]ボタンを押す

ファンクションモードの設定項目の選択表示に戻ります。

6 [FUNC]、または[RTN]ボタンを押す

ファンクションモードが解除されます。

(**5**の時に[FUNC]ボタンを押してもファンクションモードは解除されません。)



注意

以下の点にご注意ください。

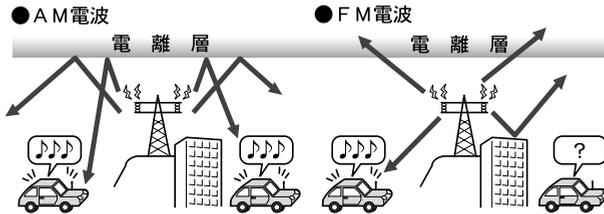
- ・500W以下のAM放送局(中継局)および100W以下のFM放送局(中継局)のデータには対応していないため、放送局名が表示されません。
- ・設定されているエリア以外の放送局を受信したときは、放送局名が表示されない場合があります。
- ・同一エリアに複数の放送局があるときは、次のような表示をする場合があります。
IWATE/NHK……FM岩手とNHK FMの場合
- ・放送局によっては、正式な名称を表示しないときがあります。(10文字まで表示します。)
- ・本機の放送局名データは、平成15年1月1日現在のものです。

FM放送について

FM放送は、普通のラジオ放送(AM)に比べて、よい音質で聞くことができるうえ、ステレオ受信もできます。しかし、FM電波の性質上、移動する車で受信するには以下の点をご了承ください。

FM電波の直進性

FM電波は、AM電波に比べて周波数が高いため、光に似た性質をもっています。そのため建物や山に電波がさえぎられて、受信できない場合もできます。したがってFM電波の受信範囲は、AM電波に比べてかなり狭くなります。



フェードアウト

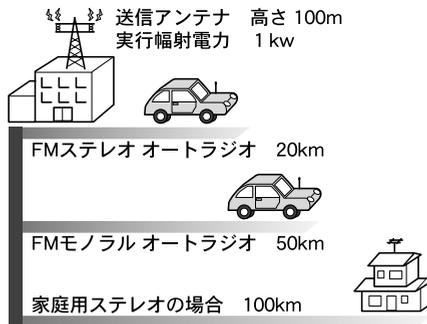
FM放送のように高い周波数の電波は、「物」に反射されやすいという性質をもっています。そのため建物やポール等の障害物の陰を車が通過すると、アンテナに十分な電波が入らなくなり、音が途切れて「シャッ、シャッ」というような雑音が生じる「フェードアウト」(消失)現象が起こることがあります。

FM放送のサービスエリア

家庭用ステレオでFM放送を受信する場合は、アンテナを高くしたり、高感度アンテナを使用できるため、電波が弱くても十分に聞くことができます。

しかし自動車ラジオの場合は、走りながら受信し、アンテナ形状や取り付け位置の制限、車のエンジン雑音の影響などもあって家庭用に比べて良聴地域は狭くなります。

電波を十分にキャッチするために、アンテナは全段のぼしてお使いください。

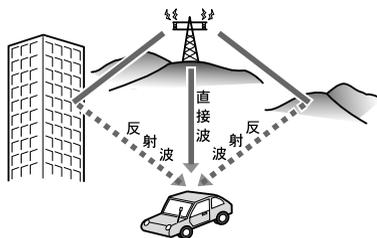


(図の聴取可能範囲は、障害のない平坦地の場合の一例であって、電力、地形等によって大きな差異があります。)

マルチパス

放送局の送信アンテナからの直接波と、建物や山にぶつかって反射した反射波を同時に受信すると、高音域で「ジュル、ジュル」という雑音ができたり、女声のアナウンスがハスキーになったりします。これを「マルチパス」(多重伝播)ひずみといいます。

このような現象は、「フェードアウト」と同様にFM放送のように高い周波数の電波特有の伝わりかたに起因しています。この現象が起こったときは、車を移動させる以外に避けることはできません。



サウンド調整モードの操作

サウンド調整モードについて

本機は車室内の音響特性を補正するための各種機能を持っています。サウンド調整モードには通常モード、ADVANCEモードの2種類の調整モードがあり、それぞれのモードで以下の項目が調整できます。

	通常モード	ADVANCEモード	参照ページ
DSP	○	×	P72
ポジションセレクト	○	○	P73、80
フェーズ	○	○	P73、84
グラフィックイコライザ	×	○	P75
パラメトリックイコライザ	×	○	P78
簡易タイムアライメント	×	○	P79
クロスオーバー	×	○	P83
マルチハーモナイザ	×	○	P84
Bass/Treble	○	×	P23
E-ISERV連携音響カスタマイズ	×	○	P85

DSP

DSPは、再生する音楽に残響音を加え、さまざまな環境(ルームサイズ)の臨場感を擬似的に再現することができます。

本機では5つのルームサイズが用意されています。

ポジションセレクト

聞き手の座席の位置を設定すると、スピーカーから聞き手に音が届くまでの時間を調節し、より自然な音像定位が得られます。本機では、4種類のポジションを設定することができます。

NON-FADERフェーズ

ウーファから出力される音の中には、フロント/リヤスピーカーの音と同じ周波数帯域のものがあり、さまざまな車内条件により、これらの音が互いに打ち消しあってしまうことがあります。この現象を防ぐものがウーファの位相切り替えです。

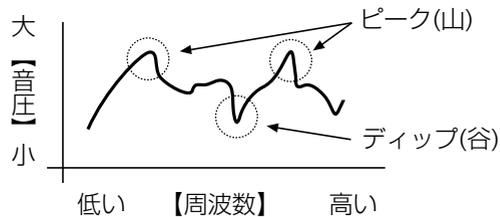
車内条件に合わせて位相をNormal(フロント/リヤスピーカーとウーファの出カタイミングを同じにする)またはReverse(フロント/リヤスピーカーとウーファの出カタイミングをずらす)に設定することができます。

グラフィックイコライザ

グラフィックイコライザは、再生する音楽のジャンルや楽器に合わせてあらかじめ設定されたイコライザモード(6種類)を選択したり、各モードの詳細を調整することができます。

パラメトリックイコライザ

車室内はシートやガラスなど、さまざまな素材が使われており、それらが音を吸収したり反射したりするため、車室内の周波数特性はピーク(山)やディップ(谷)ができていたりしています。

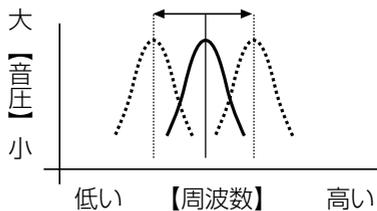


これらのピークやディップを補正し、周波数特性をフラットにするための機能が『イコライザ』です。しかし、通常のグラフィック・イコライザでは、中心周波数、Q(鋭度・帯域幅)が固定されているため、隣接する帯域まで変化してしまい、ピークやディップの特性の乱れを補正するには限界があります。

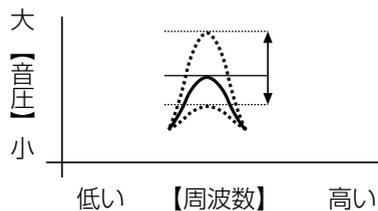
そこで、中心周波数、Q(鋭度・帯域幅)、ゲインを任意に調整でき、スポット的に狙った帯域だけを微妙に調整することができる機能が『パラメトリック・イコライザ』です。

【パラメトリックイコライザの特徴】

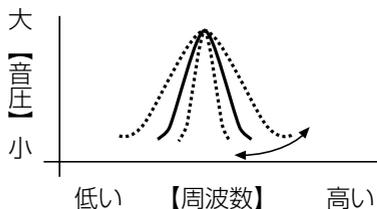
①. 中心周波数を可変できる。



②. ゲインを可変できる。



③. Q(鋭度/帯域幅)を可変できる。



本機では、13バンドのグラフィック・イコライザに加え、1バンドのパラメトリック・イコライザを内蔵しており、グラフィック・イコライザだけでは調整しきれないポイントを、さらに1バンドのパラメトリック・イコライザを使って補正することが可能です。

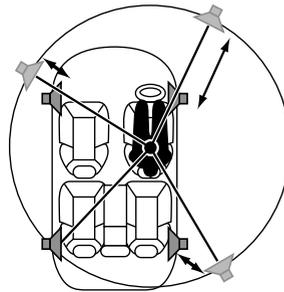
簡易タイムアライメント

車の場合、スピーカーの取り付け位置と乗車位置の関係は、左右のスピーカーまでの距離が違うことがほとんどです。このスピーカーまでの距離の違いにより音の到着時間にずれが生じます。その結果、音の定位がずれる(片寄り)・サウンドステージが広がらないなど、不自然な音になってしまいます。

この音の到達時間を補正し、乗車位置に最適になるよう音を定位させ、サウンドステージの広がり感を実現する機能が『タイムアライメント』です。

基本的な調整方法は、各スピーカーまでの距離を実際に測定し、一番遠いスピーカーとの距離差を算出することで、各スピーカーからの音の遅延時間を決定します。

本機では、簡易タイムアライメント機能を搭載しており、4項目(ポジションセレクト／車種／ツイータの設定／リアスピーカーの位置設定)を設定するだけで、実際にスピーカーまでの距離を測定しなくてもタイムアライメントの調整を簡易的に行うことが可能です。



クロスオーバー

CDなどの音楽ソフトに収録されている周波数帯域は、20Hz～20kHzまでと幅広く、1つのスピーカーでは、この幅広い周波数を再生することは困難です。

そこで複数のスピーカーを用意し、それぞれのスピーカーの周波数帯域(低域・中域・高域など)を分割することで広帯域の再生が可能となります。

取り付けるスピーカーユニットやスピーカーレイアウトによって、各スピーカーの受け持つ周波数帯域を分割し、スピーカーの能力を最大限に引き出し、安定した周波数特性を実現し最適な音響空間を再現するための機能が『クロスオーバー』です。

クロスオーバーには高域を再生するためのHPF(ハイパスフィルター)と低域を再生するためのLPF(ローパスフィルター)があります。また、中域を再生するにはHPFとLPFを組み合わせて使用します。



※fc*: カットオフ周波数

例えば、HPFを調整した場合、その周波数より低い周波数は全く再生されないわけではなく、徐々に減衰していきます。この減衰特性を調整する機能が『スロープ』調整です。

フィルターのスロープ特性は、スロープの数値が大きい(例えば 12dB/octなど)ほど、傾きが急になり隣の帯域からの音の混ざりが少なくなり、狙った帯域だけを再生することができますが、各スピーカー間の音のつながりが悪くなったり、歪みが発生する場合があります。

マルチハーモナイザ

原音からMP3やATRAC3に変換するとき、人間の耳では聴き取ることのできない音域が圧縮されます。マルチハーモナイザは、その圧縮処理により損なわれた音域をできるだけ原音の状態に戻して、より鮮明なサウンドを楽しむことができます。

E-iSERV連携音響カスタマイズ

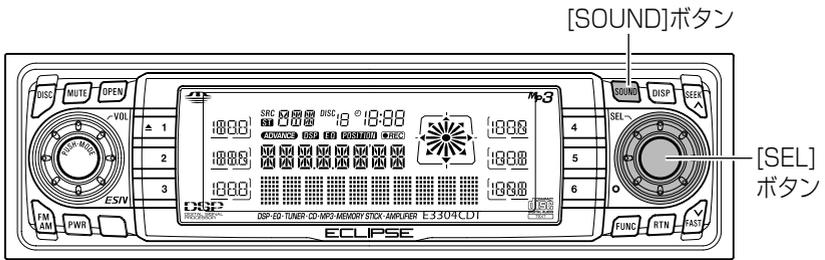
本機に搭載しているタイムアライメントやクロスオーバーについては、ECLIPSEのWebサイトでも同様の調整をすることができます。

(ADVANCEモードのみ)

ECLIPSEのWebサイトでは、操作手順が画面上に案内されるので、比較的容易に調整をすることができます。

ECLIPSEのWebサイトにアクセスして、画面上の案内にしたがって、調整をしてください。その後“メモリースティック”に調整したデータをダウンロードして、本機に取り込んでください。(調整したデータの取り込みは「音質データの取り込み」(85ページ)を参照してください。)

URL : <http://www.fujitsu-ten.co.jp/eclipse>



サウンド調整モードの切り換え

1 [SOUND]ボタンを押す

[SOUND]ボタンを長めに(2秒以上)押すと、通常モード(ADVANCE OFF)↔ADVANCEモード(ADVANCE ON)へ切り換わります。サウンド調整モードを切り換えるたびに、それぞれのモードで調整した内容でサウンドが楽しめます。

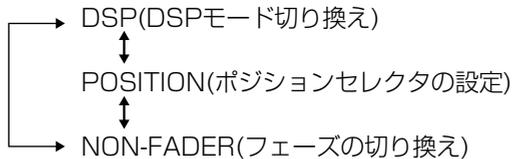
サウンド調整モード(通常モード)での操作

1 [SOUND]ボタンを短く(1秒未満)押す

サウンド調整モード(通常モード)に切り換わります。

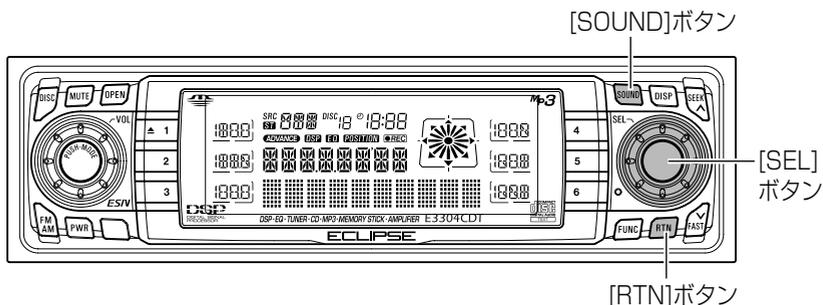
2 [SEL]ボタンを回し設定項目を選択する

ボタンを回すごとに、設定項目が次の順に切り換わります。



3 [SEL]ボタンを押す

各設定モードに切り換わります。

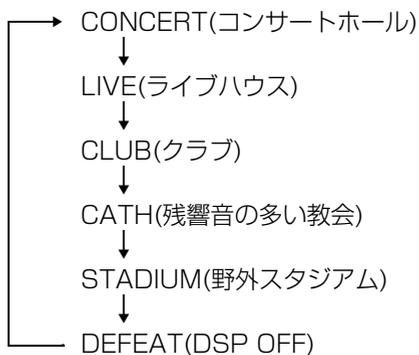


DSPモード切り換え(DSP)

DSPは、再生する音楽に残響音を加え、さまざまな環境(ルームサイズ)の臨場感を擬似的に再現することができます。

1 [SEL]ボタンを押す

ボタンを押すごとに、DSPモードが次の順に切り換わります。



注意

各モードのレベルは調整できません。

2 [RTN]ボタンを押す

通常モードの設定項目の選択表示に戻ります。

3 [SOUND]、または[RTN]ボタンを押す

サウンド調整モードが解除されます。

(2の時に[SOUND]ボタンを押してもサウンド調整モードは解除されません。)

ポジションセレクタの設定 (POSITION)

座席の位置や人数に合わせて、聞く位置を選択します。

1 [SEL] ボタンを回す

ボタンを回すごとに、設定が次の順に切り換わります。



2 [RTN] ボタンを押す

通常モードの設定項目の選択表示に戻ります。

3 [SOUND]、または[RTN] ボタンを押す

サウンド調整モードが解除されます。

(2の時に[SOUND]ボタンを押してもサウンド調整モードは解除されません。)



ポジションセレクタを設定(OFF以外)するとBALANCE/FADERはキャンセルされます。

フェーズの切り換え (NON-FADER)

位相を切り換えることでフロント・リヤスピーカーとウーファの音のつながりを改善することができます。

位相を切り換え、違和感なく音がつながる方を選んでください。

1 [SEL] ボタンを回し正相 (NORMAL)、逆相 (REVERSE) を選択する

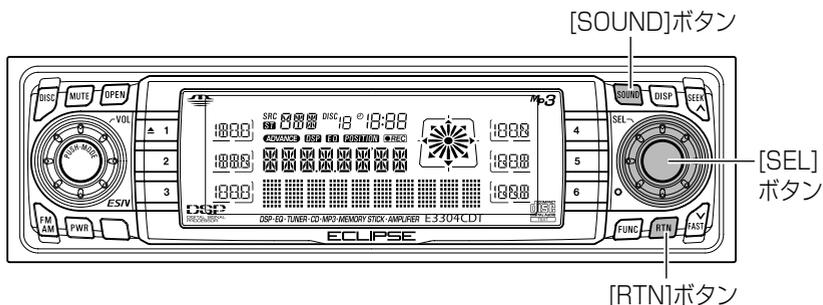
2 [RTN] ボタンを押す

通常モードの設定項目の選択表示に戻ります。

3 [SOUND]、または[RTN] ボタンを押す

サウンド調整モードが解除されます。

(2の時に[SOUND]ボタンを押してもサウンド調整モードは解除されません。)



サウンド調整モードの切り換え

1 [SOUND]ボタンを押す

[SOUND]ボタンを長めに(2秒以上)押すと、通常モード(ADVANCE OFF)↔ADVANCEモード(ADVANCE ON)へ切り換わります。サウンド調整モードを切り換えるたびに、それぞれのモードで調整した内容でサウンドが楽しめます。

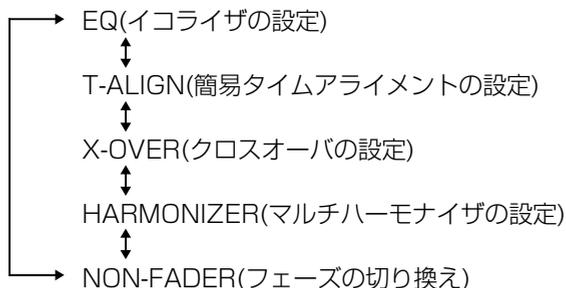
サウンド調整モード(ADVANCEモード)での操作

1 [SOUND]ボタンを短く(1秒未満)押す

サウンド調整モード(ADVANCEモード)に切り換わります。

2 [SEL]ボタンを回し設定項目を選択する

ボタンを回すごとに、設定項目が次の順に切り換わります。



3 [SEL]ボタンを押す

各設定モードに切り換わります。

イコライザの設定(EQ)

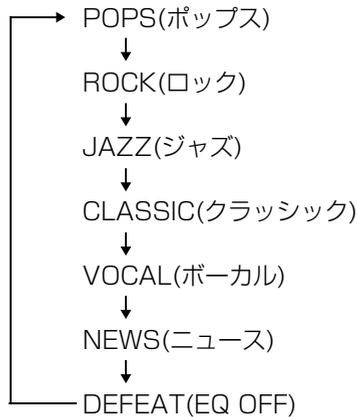
EQ(イコライザ)は、再生する音楽ジャンルや楽器に合わせて周波数を調整し、好みに合わせた音質で音楽を楽しむことができます。また、車室内の周波数特性を13バンドのイコライザにより補正することも可能です。

イコライザモードを切り換える

イコライザモードを切り換えます。

1 [SEL]ボタンを短く(1秒未満)押す

ボタンを押すごとに、イコライザモードが次の順に切り換わります。



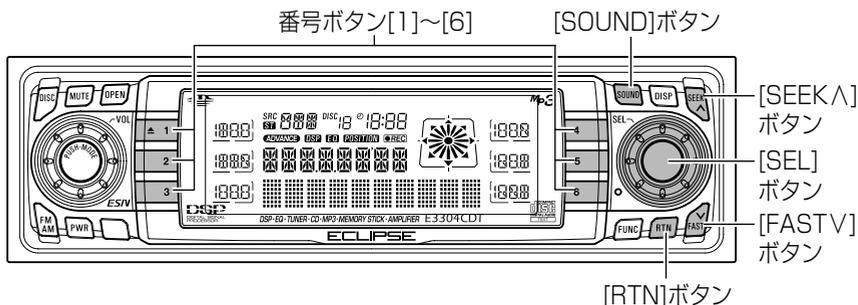
2 [RTN]ボタンを押す

ADVANCEモードの設定項目の選択表示に戻ります。

3 [SOUND]、または[RTN]ボタンを押す

サウンド調整モードが解除されます。

(2の時に[SOUND]ボタンを押してもサウンド調整モードは解除されません。)



各イコライザモードの詳細を調整する

各イコライザの詳細を調整します。

- 1** イコライザモードを選択後、[SEL]ボタンを回し調整する周波数を切り換える

ボタンを回すごとに、周波数が次の順に切り換わります。

63Hz ↔ 100Hz ↔ 160Hz ↔ 250Hz ↔ 400Hz ↔ 630Hz ↔ 1kHz ↔ 1.6kHz ↔ 2.5kHz ↔ 4kHz ↔ 6.3kHz ↔ 10kHz ↔ 16kHz ↔
- 2** [SEEK∧/FASTV]ボタンを押す

各周波数のレベルを調整します。

[SEEK∧]ボタン ……………大きくなる

[FASTV]ボタン ……………小さくなる
- 3** 記憶させる番号ボタン[1]~[5]のいずれかを長めに(2秒以上)押す

調整したレベルが記憶されます。
- 4** [RTN]ボタンを押す

ADVANCEモードの設定項目の選択表示に戻ります。
- 5** [SOUND]、または[RTN]ボタンを押す

サウンド調整モードが解除されます。

(4の時に[SOUND]ボタンを押してもサウンド調整モードは解除されません。)

記憶したイコライザモードを呼び出す

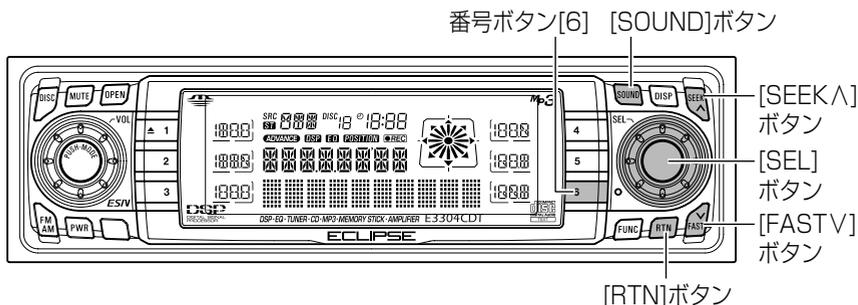
プリセットボタンを押してあらかじめ記憶したイコライザモードを呼び出します。イコライザモードを記憶した番号ボタンをプリセットボタンと呼びます。

- 1** [SEL] ボタンを回しEQを選択する
- 2** [SEL] ボタンを押す
- 3** 番号ボタン[1]～[5]のいずれかを押す
記憶されたプリセットパターンが呼び出されます。
- 4** [RTN] ボタンを押す
ADVANCEモードの設定項目の選択表示に戻ります。
- 5** [SOUND]、または[RTN] ボタンを押す
サウンド調整モードが解除されます。
(**4**の時に[SOUND]ボタンを押してもサウンド調整モードは解除されません。)



ワンポイント

- ・プリセットパターンを呼び出した場合、イコライザモードは「USER ○」
↑ 1～5 (プリセット番号) と表示されます。
- ・プリセットボタン[6]は、E-iSERVからダウンロードした音質データを呼び出すときに使用します。



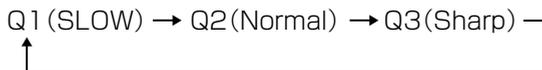
パラメトリックイコライザの詳細を調整する

パラメトリックイコライザ(1バンド)の周波数を選択、調整を行います。



以降の操作をすると、それまで設定されていたパラメトリックイコライザは更新されます。

- 1 設定項目のEQを選択し、[SEL]ボタンを長めに(1秒以上)押し**
パラメトリックイコライザ調整モードに切り換わります。
- 2 [SEL]ボタンを回し、パラメトリックイコライザに設定する周波数を切り換える**
ボタンを回すごとに、周波数が次の順に切り換わります。
80Hz ↔ 125Hz ↔ 200Hz ↔ 315Hz ↔ 500Hz ↔ 800Hz ↔ 1.25kHz ↔ 2kHz ↔ 3.15kHz ↔ 5kHz ↔ 8kHz ↔ 12.5kHz ↔
- 3 [SEEK∧/FASTV]ボタンを押す**
各周波数のレベルを調整します。
[SEEK∧]ボタン ……………大きくなる
[FASTV]ボタン ……………小さくなる
- 4 番号ボタン[6]を短く(1秒未満)押す**
ボタンを押すごとにQカーブパターンが次の順に切り換わります。

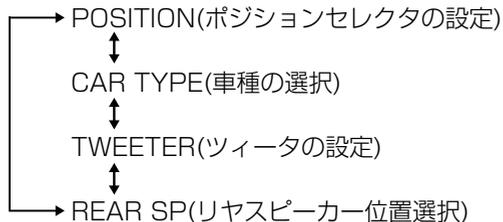


- 5** [SEL] ボタンを長めに(1秒以上)押す
イコライザモードの設定項目の選択表示に戻ります。
- 6** [RTN] ボタンを押す
ADVANCEモードの設定項目の選択表示に戻ります。
- 7** [SOUND]、または[RTN] ボタンを押す
サウンド調整モードが解除されます。
(**5**、**6**の時に[SOUND]ボタンを押してもサウンド調整モードは解除されません。)

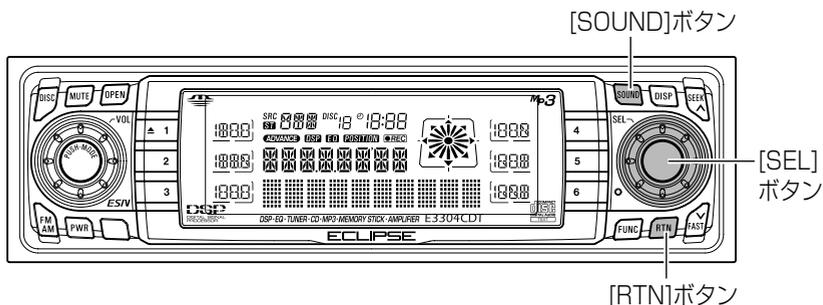
簡易タイムアライメントの設定(T-ALIGN)

各スピーカーから出力される信号を遅延し、各スピーカーから聴取位置までの到達時間を合わせることで、位置特性、周波数特性を補正する機能です。

- 1** [SEL] ボタンを回し設定項目を選択する
ボタンを回すごとに、設定項目が次の順に切り換わります。



- 2** [SEL] ボタンを短く(1秒未満)押す
各設定モードに切り換わります。



ポジションセレクタの設定 (POSITION)

座席の位置や人数に合わせて、聞く位置を選択します。

1 [SEL] ボタンを回す

ボタンを回すごとに、設定が次の順に切り換わります。



2 [RTN] ボタンを押す

タイムアライメントの設定項目の選択表示に戻ります。

3 [RTN] ボタンを押す

ADVANCEモードの設定項目の選択表示に戻ります。

4 [SOUND]、または[RTN] ボタンを押す

サウンド調整モードが解除されます。

(2、3の時に[SOUND]ボタンを押してもサウンド調整モードは解除されず。)



ポジションセレクタを設定(OFF以外)するとBALANCE/FADERはキャンセルされます。

車種を選択(CAR TYPE)

あらかじめ車種別に用意されたタイムアライメントの中から車種に合ったものを選択することで、自動的に最適なタイムアライメントを設定することができます。

① [SEL] ボタンを回し車種を選択する

ボタンを回すごとに、設定が次の順に切り換わります。



② [RTN] ボタンを押す

タイムアライメントの設定項目の選択表示に戻ります。

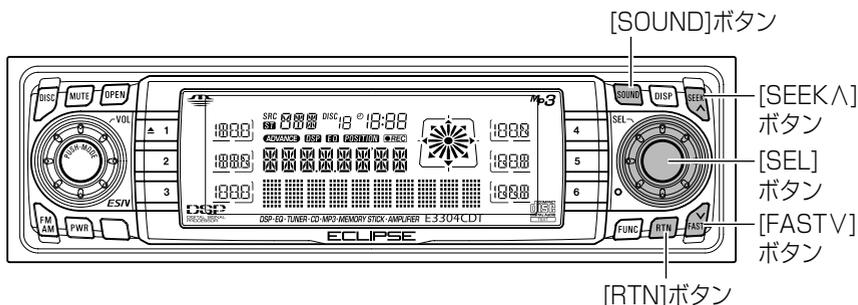
③ [RTN] ボタンを押す

ADVANCEモードの設定項目の選択表示に戻ります。

④ [SOUND]、または[RTN] ボタンを押す

サウンド調整モードが解除されます。

(②、③の時に[SOUND]ボタンを押してもサウンド調整モードは解除されます。)



ツイータの設定(TWEETER)

ツイータの設置場所、ツイータの有無を選択することで自動的に最適なタイムアライメントを設定することができます。

1 [SEL]ボタンを回しツイータの設置場所、ツイータの有無を選択する

ボタンを回すごとに、設定が次の順に切り換わります。



2 [RTN]ボタンを押す

タイムアライメントの設定項目の選択表示に戻ります。

3 [RTN]ボタンを押す

ADVANCEモードの設定項目の選択表示に戻ります。

4 [SOUND]、または[RTN]ボタンを押す

サウンド調整モードが解除されます。

(2、3の時に[SOUND]ボタンを押してもサウンド調整モードは解除されません。)



フロントスピーカーがダッシュパネルに取り付けられている場合、ツイータを取り付けていなくてもツイータ設定をDASHにすると効果的です。

リヤスピーカー位置選択(REAR SP)

リヤスピーカーの設置場所を選択することで自動的に最適なタイムアライメントを設定することができます。

- 1 [SEL] ボタンを回しリヤスピーカーの設置場所を選択する**
ボタンを回すごとに、設定が次の順に切り換わります。

DOOR(ドア) ↔ OTHERS(その他)

- 2 [RTN] ボタンを押す**
タイムアライメントの設定項目の選択表示に戻ります。
- 3 [RTN] ボタンを押す**
ADVANCEモードの設定項目の選択表示に戻ります。
- 4 [SOUND]、または[RTN] ボタンを押す**
サウンド調整モードが解除されます。
(**2**、**3**の時に[SOUND]ボタンを押してもサウンド調整モードは解除されません。)

クロスオーバーの設定(X-OVER)

フロント・リヤスピーカーのHPF(ハイパスフィルター)／ウーファのLPF(ローパスフィルター)の周波数を63Hz～200Hzの範囲で選択することができます。(HPFとLPFのカットオフ周波数は同じです。)

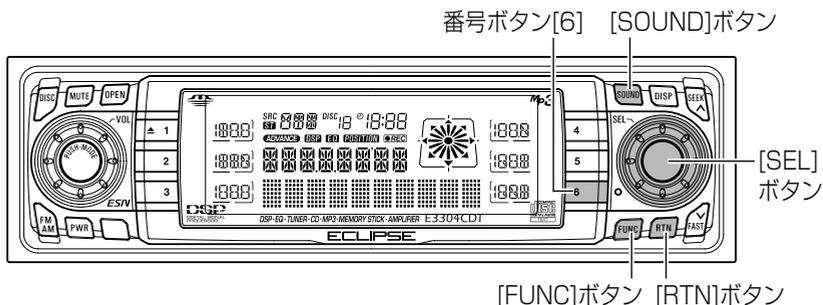
- 1 [SEL] ボタンを回しカットオフ周波数を選択する**
ボタンを回すごとに、周波数が次の順に切り換わります。
63Hz ↔ 80Hz ↔ 100Hz ↔ 125Hz ↔ 160Hz ↔ 200Hz ↔
- 2 [SEEK^]/[FASTV] ボタンを押しスロープを設定する**
[SEEK^] ボタン ……………PASS
[FASTV] ボタン ……………12dB/oct



ワンポイント

ウーファを接続していない場合は、スロープ調整を「PASS」に設定してください。(スロープを12dB/octに設定すると、スピーカーからの低域が遮断されます。)

- 3 [RTN] ボタンを押す**
ADVANCEモードの設定項目の選択表示に戻ります。
- 4 [SOUND]、または[RTN] ボタンを押す**
サウンド調整モードが解除されます。
(**3**の時に[SOUND]ボタンを押してもサウンド調整モードは解除されません。)



マルチハーモナイザの設定(HARMONIZER)

MP3やATRAC3の圧縮処理により損なわれた音域をできるだけ原音に戻す補正レベルを設定することができます。

1 [SEL]ボタンを回し補正レベルを選択する

ボタンを回すごとに、補正レベルが次の順に切り換わります。



2 [RTN]ボタンを押す

ADVANCEモードの設定項目の選択表示に戻ります。

3 [SOUND]、または[RTN]ボタンを押す

サウンド調整モードが解除されます。

(2の時に[SOUND]ボタンを押してもサウンド調整モードは解除されません。)

NON-FADER フェーズの切り換え(NON-FADER)

位相を切り換えることでフロント・リヤスピーカーとウーファの音のつながりを改善することができます。

位相を切り換え、違和感なく音がつながる方を選んでください。

1 [SEL]ボタンを回し正相(NORMAL)、逆相(REVERSE)を選択する

2 [RTN]ボタンを押す

ADVANCEモードの設定項目の選択表示に戻ります。

3 [SOUND]、または[RTN]ボタンを押す

サウンド調整モードが解除されます。

(2の時に[SOUND]ボタンを押してもサウンド調整モードは解除されません。)

音質データの取り込み

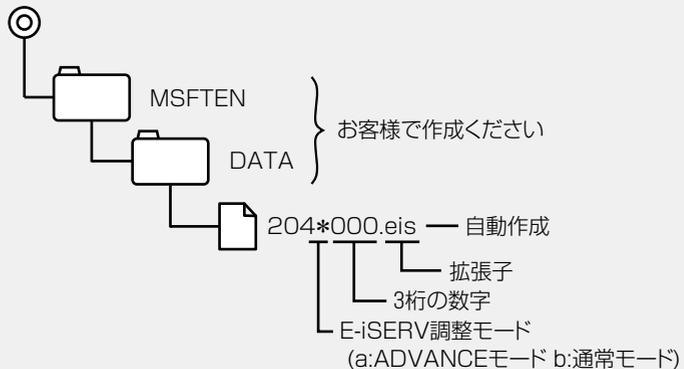
E-iSERV(webサイト)から“メモリースティック”にダウンロードした音質データを本機に取り込むことができます。

- 1 データを取り込む“メモリースティック”を挿入する
- 2 [FUNC]ボタンを短く(1秒未満)押す
ファンクションモードに切り換わります。
- 3 [SEL]ボタンを回して、「DATA READ」を選択する
- 4 [SEL]ボタンを押す
データ読み込みモードに切り換わります。
- 5 [SEL]ボタンを回して、取り込むファイルを選択する
- 6 [SEL]ボタンを押す
選択されたファイルが本機に取り込まれます。
ファイルの読み込み中は、「READING」が表示されます。
データ取り込み後、「COMPLETED」が表示されて、ファンクションモードの設定項目の選択表示に戻ります。



ワンポイント

- ・E-iSERVからダウンロードしたデータは次の図のようにメモリースティック内に作成されたフォルダに保存されます。



- ・本機に取り込みが可能なファイルは、E-iSERV連携音響カスタマイズからダウンロードしたときに、自動で作成されます。
- ・取り込まれた音質データ(タイムアライメントおよびクロスオーバーの調整値)は、プリセットボタン[6]に自動で記憶されます。
- ・サウンド調整モード(ADVANCEモード)のイコライザー設定モードで番号ボタン[6]を長めに(2秒以上)押すと、データを呼び出すことができます。

- 7 [FUNC]、または[RTN]ボタンを押す
ファンクションモードが解除されます。

ESNセキュリティーの操作

ESNについて

本機は、ESN(ECLIPSE Security Network)機能を搭載しています。ESNは、あらかじめ本機に登録した音楽CD(Key CD)、暗証番号(4桁)や、暗証番号が記録された“メモリースティック”が必要になります。これらのいずれかが無いと、車両の整備などでバッテリーとの接続が外されたときや、エンジンスイッチをOFFにしたとき、再度バッテリーの接続や、エンジンスイッチをACC、またはONにしても全ての機能が動作しなくなります。

ESNは、次のいずれかの方法で設定、解除をすることができます。

●**Key CD セキュリティー**(88ページ)：

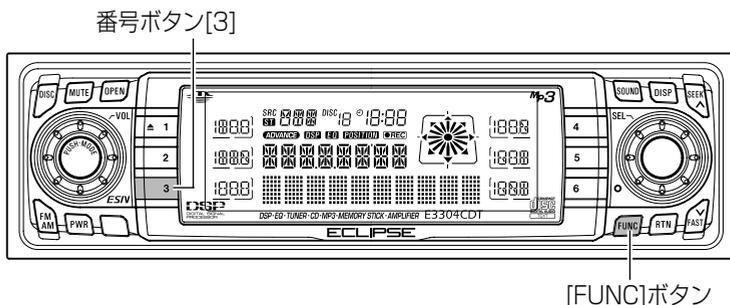
お手持ちの音楽CDを「Key CD」として、本機に登録して、そのCDでセキュリティーの設定、解除を行います。

●**“メモリースティック” セキュリティー**(91ページ)：

“メモリースティック” および本機に暗証番号を登録して、“メモリースティック”、または暗証番号と本機との照合によりセキュリティーの設定、解除を行います。

●**ACCセキュリティー**(96ページ)：

“メモリースティック”セキュリティーが設定されているときのみ使用することができます。ACCセキュリティーを設定すると、エンジンスイッチのOFF後、再度エンジンスイッチをACCにした場合、全ての操作が無効になります。



セキュリティタイプ(Key CDセキュリティ、“メモリースティック”セキュリティ)の切り換え

セキュリティタイプ(Key CDセキュリティ、“メモリースティック”セキュリティ)を切り換えることができます。初期状態では、Key CDセキュリティを設定することができる状態になっています。

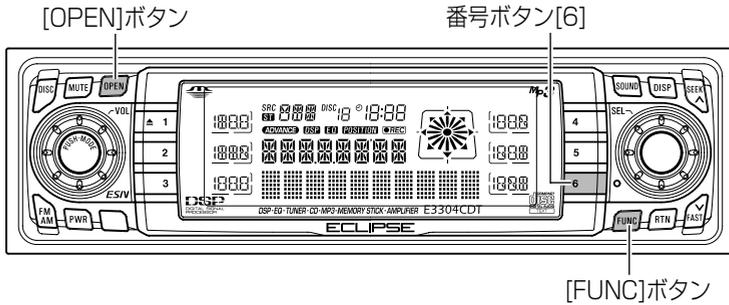
- 1** 本機の電源がOFFになっていることを確認する
- 2** 番号ボタン[3]および[FUNC]ボタンを2秒以上同時に押す

ボタンを押すごとにKey CDセキュリティ(DISC SEC)と“メモリースティック”セキュリティ(MS SEC)が切り換わります。



ワンポイント

セキュリティが設定されている時は、切り換えをすることはできません。



ESN(Key CDセキュリティ)の操作

Key CDの登録

お手持ちの音楽CDをKey CDとして本機に登録します。

- 1 本機の電源がOFFになっていることを確認する
- 2 番号ボタン[6]および[FUNC]ボタンを同時に1秒以上押す
ディスプレイに「SEC」が2秒間表示されて、表示が「DISC」に切り換わります。[OPEN]ボタンを押して、前面パネルを開きます。



ワンポイント

- ・すでにCDが挿入されている場合、ディスプレイに「SEC」が表示された後、前面パネルが開き、CDが排出されます。
- ・すでにセキュリティが設定されているときは、Key CD を登録することはできません。

- 3 CDを挿入する
ディスプレイに「SEC」が表示されて、Key CDが登録されます。その後、CDが排出されます。
- 4 [OPEN]ボタンを押す
前面パネルが閉じます。



ワンポイント

- ・CD-R/RW、CCCD(コピーコントロールCD)およびMP3やWMAのCD-ROMは、使用することができません。
- ・CDに問題がある場合、ディスプレイに「ERR」が2秒間表示されて、CDが排出されます。再度CDを挿入してください。
- ・2回続けて、ディスプレイに「ERR」が表示されると、「CHANGE」が2秒間表示されます。この場合は他の音楽CDで試してください。
- ・セキュリティが設定されると本機の電源がALL OFF、またはエンジンスイッチがOFFのときは、セキュリティインジケータを点滅させることができます。「セキュリティインジケータの表示」(97ページ)を参照してください。
- ・登録したKey CDは、登録を解除する時などに必要になります。登録したCD(アルバム名)を忘れた時の確認用にメモしておくことをお勧めします。

Key CD登録の解除

Key CDの登録を解除して、セキュリティーが動作しない状態にします。

- 1 本機の電源がOFFになっていることを確認する
- 2 番号ボタン[6]および[FUNC]ボタンを同時に1秒以上押す
ディスプレイに「SEC」が2秒間表示されて、表示が「DISC」に切り換わります。[OPEN]ボタンを押して、前面パネルを開きます。



すでにCDが挿入されている場合、ディスプレイに「SEC」が表示された後、前面パネルが開き、CDが排出されます。

- 3 Key CDを挿入する
ディスプレイに「CANCEL」が表示されて、Key CDが排出されます。Key CDの登録は解除されます。
- 4 [OPEN]ボタンを押す
前面パネルが閉じます。

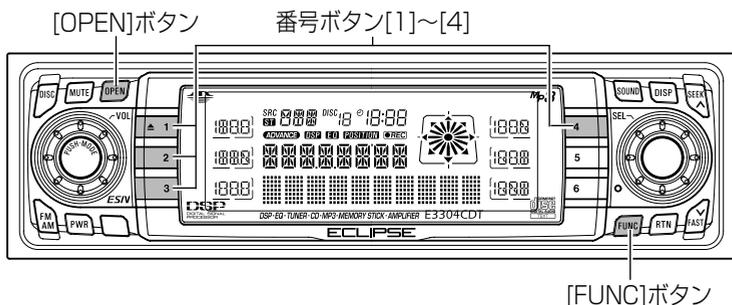


Key CD以外のCDを挿入した場合、登録の解除はキャンセルされます。その時、ディスプレイに「ERR」が2秒間表示されて、CDの再生が始まります。

Key CDの変更

本機に登録されているKey CDを他のCDに変更することができます。

- 1 Key CDの登録を消去する
「Key CD登録の解除」(前項目)を参照してください。
- 2 別のKey CDを登録する
「Key CDの登録」(前ページ)を参照してください。



動作ロック状態の解除

車両の整備などでバッテリーとの接続が断たれた場合、ESN機能が動き動作ロック状態になります。(Key CDが登録されている場合のみ)この場合、再度電源をONにしても通常に動作しません。動作ロック状態を解除するには、次の操作が必要になります。

- 1 バッテリー接続後、本機の電源をONにしたとき、ディスプレイに「SEC」が2秒間表示されます。その後、ディスプレイに「DISC」が表示されます。[OPEN]ボタンを押して、前面パネルを開きます
- 2 Key CDを挿入する
- 3 [OPEN]ボタンを押す
前面パネルが閉じます。
挿入したCDがKey CDと認識された場合、ディスプレイに「OK」が2秒間表示されて、動作ロック状態が解除されます。その後、CDの再生が始まります。



ワンポイント

- ・挿入したCDがKey CDと認識されなかった場合、CDが排出された後、ディスプレイに「ERR_」(ERRおよびエラー回数)が2秒間表示されます。
- ・ディスプレイに「ERR5」(エラー回数5回目)が表示されると、「HELP」が表示されて、CDが排出されます。この場合は、お客様相談窓口までご連絡ください。(ご連絡先は「アフターサービスについて」(123ページ)を参照してください。)
- ・複製されたCDでは動作ロック状態を解除することができません。

ESN(“メモリースティック”セキュリティ)の操作

“メモリースティック”セキュリティは、暗証番号(4桁)を本機および“メモリースティック”に登録します。その“メモリースティック”、または暗証番号入力で動作ロック状態の解除を行います。

暗証番号の登録

- 1 本機の電源がOFFになっていることを確認する
- 2 番号ボタン[1]および[FUNC]ボタンを同時に1秒以上押す
ディスプレイに「SEC」が2秒間表示されて、表示が「MS」に切り換わります。[OPEN]ボタンを押して、前面パネルを開きます。



ワンポイント

- ・すでに“メモリースティック”が挿入されている場合は、ディスプレイに「MS EJECT」が表示されます。この場合、“メモリースティック”を取り出してください。
- ・すでにセキュリティが設定されているときは、暗証番号を登録することはできません。

- 3 “メモリースティック”を挿入して、[OPEN]ボタンを押す
前面パネルが閉じて、ディスプレイに「- - -」(暗証番号入力表示)が表示されます。
- 4 番号ボタン[1]～[4]を押して、暗証番号を入力する
暗証番号は、0～9,A～Fの数字およびアルファベットを4桁入力します。各番号ボタンを押すごとに、0～9,A～Fの数字およびアルファベットが順番に切り換わります。各番号ボタンの数字(1～4)が入力する桁数(1桁目～4桁目)になります。
- 5 [FUNC] ボタンを1秒以上押す
本機に暗証番号が登録されて、セキュリティが設定されます。また、“メモリースティック”には登録した内容が暗号化されて、書き込まれます。



ワンポイント

音楽データなどが混在している“メモリースティック”で登録した場合は、登録データを消去しないように注意してください。

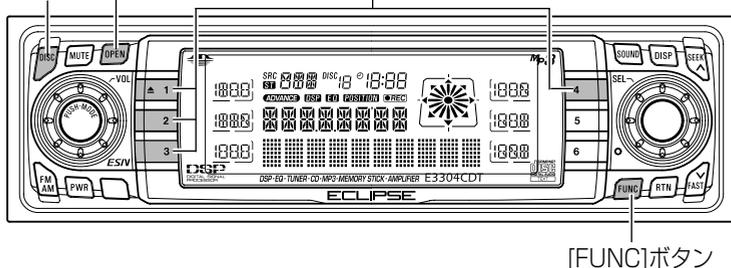
- 6 “メモリースティック”を取り出す



ワンポイント

登録した暗証番号および“メモリースティック”は、登録を解除する時などに必要になります。登録した暗証番号および“メモリースティック”を忘れた時の確認用にメモしておくことをお勧めします。

[DISC]ボタン [OPEN]ボタン 番号ボタン[1]～[4]



[FUNC]ボタン

“メモリスティック”セキュリティの解除

本機に登録した暗証番号、または登録時に使用した“メモリスティック”との照合により、セキュリティを解除することができます。セキュリティ機能の解除は、暗証番号を本機に直接入力する方法と、暗証番号の登録時に使用した“メモリスティック”で解除する方法と2通りあります。

暗証番号入力でセキュリティを解除する

- 1 本機の電源がOFFになっていることを確認する
- 2 番号ボタン[1]および[FUNC]ボタンを同時に1秒以上押し
ディスプレイに「SEC」が2秒間表示されて、表示が「- - - -」(暗証番号入力表示)に切り換わります。
- 3 番号ボタン[1]～[4]を押して、本機に登録した暗証番号を入力する
暗証番号は、0～9,A～Fの数字およびアルファベットを4桁入力します。各番号ボタンを押すごとに、0～9,A～Fの数字およびアルファベットが順番に切り換わります。各番号ボタンの数字(1～4)が入力する桁数(1桁目～4桁目)になります。
- 4 [FUNC] ボタンを1秒以上押し
本機との照合で暗証番号が一致した場合は、ディスプレイに「CANCEL」が表示されて、セキュリティが解除されます。



本機との照合で暗証番号が一致しなかった場合は、ディスプレイに「ERR」が表示されて、セキュリティは解除されないまま、通常の動作に戻ります。

“メモリースティック”でセキュリティを解除する

- 1 本機の電源がOFFになっていることを確認する
- 2 番号ボタン[1]および[FUNC]ボタンを同時に1秒以上押す
ディスプレイに「SEC」が2秒間表示されて、表示が「- - - -」(暗証番号入力表示)に切り換わります。
- 3 [DISC]ボタンを押す
ディスプレイに「MS」が表示されます。再度[DISC]ボタンを押すと、表示が「- - - -」(暗証番号入力表示)に戻ります。



ワンポイント

すでに“メモリースティック”が挿入されている場合は、ディスプレイに「MS EJECT」が表示されます。この場合は、“メモリースティック”を取り出してください。

- 4 “メモリースティック”を挿入して、[OPEN]ボタンを押す
前面パネルが閉じて、登録データの読み込みが始まります。
- 5 本機との照合で“メモリースティック”の登録内容が一致した場合、ディスプレイに「CANCEL」が表示されます
セキュリティが解除されて、通常の動作に戻ります。



ワンポイント

- ・読み込みに失敗、または他の“メモリースティック”を挿入した場合は、ディスプレイに「ERR」が2秒間表示されて、表示が「EJECT」に切り換わります。この場合、“メモリースティック”を取り出して、“メモリースティック”を確認してください。
- ・セキュリティの登録内容が記録された“メモリースティック”をフォーマットすると、この方法では解除することができなくなります。

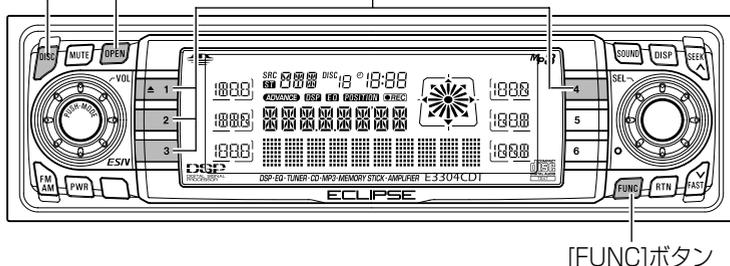
- 6 “メモリースティック”を取り出す

暗証番号の変更

本機に登録されている“メモリースティック”および暗証番号を他の“メモリースティック”および暗証番号に変更して登録させることができます。

- 1 本機に登録されている暗証番号を消去する
「“メモリースティック”セキュリティの解除」(92ページ)を参照してください。
- 2 変更する暗証番号および“メモリースティック”を再登録する
「暗証番号の登録」(91ページ)を参照してください。

[DISC]ボタン [OPEN]ボタン 番号ボタン[1]~[4]



[FUNC]ボタン

動作ロック状態の解除

車両の整備などでバッテリーとの接続が断たれた場合、またはACCセキュリティが設定された状態でエンジンスイッチをOFFにしたときは、ESNのセキュリティ機能は動作ロック状態になります。(暗証番号が登録されている場合のみ)この場合、再度電源をONにしても通常に動作しません。動作ロック状態を解除するには、次の操作が必要になります。動作ロック状態の解除は、暗証番号を本機に直接入力して解除する方法と、暗証番号の登録時に使用した“メモリースティック”で解除する方法と2通りあります。

暗証番号入力で動作ロック状態を解除する

- 1 本機の電源をONにしたとき、ディスプレイに「SEC」が2秒間表示されます。その後、「- - - -」(暗証番号入力表示)が表示されます
- 2 番号ボタン[1]~[4]を押して、本機に登録した暗証番号を入力する
暗証番号は、0~9,A~Fの数字およびアルファベットを4桁入力します。各番号ボタンを押すごとに、0~9,A~Fの数字およびアルファベットが順番に切り換わります。各番号ボタンの数字(1~4)が入力する桁数(1桁目~4桁目)になります。
- 3 [FUNC] ボタンを1秒以上押す
本機との照合で暗証番号が一致した場合は、ディスプレイに「OK」が表示されて、動作ロック状態が解除されます。



ワンポイント

- ・本機との照合で暗証番号が一致しなかった場合は、ディスプレイに「ERR_」(ERRおよびエラー回数)が2秒間表示されて、「- - - -」(暗証番号入力表示)が表示されます。この場合、暗証番号を確認して再度、入力してください。
- ・ディスプレイに「ERR5」(エラー回数5回目)が表示されると、「HELP」が表示されます。この場合は、お客様相談窓口までご連絡ください。(ご連絡先は「アフターサービスについて」(123ページ)を参照してください。)

“メモリースティック”で動作ロック状態を解除する

- 1 本機の電源をONにしたとき、ディスプレイに「SEC」が2秒間表示されます。その後、「- - - -」(暗証番号入力表示)が表示されます
- 2 [DISC]ボタンを押す
ディスプレイに「MS」が表示されます。再度[DISC]ボタンを押すと、表示が「- - - -」(暗証番号入力表示)に戻ります。



すでに“メモリースティック”が挿入されている場合は、ディスプレイに「MS EJECT」が表示されます。この場合、“メモリースティック”を取り出してください。

- 3 登録した“メモリースティック”を挿入して、[OPEN]ボタンを押す
前面パネルが閉じて、登録データの読み込みが始まります。

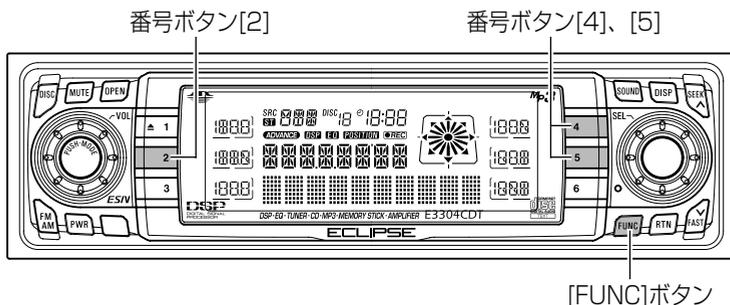


挿入した“メモリースティック”に問題がある場合は、ディスプレイに[ERR]が2秒間表示された後、「EJECT」が表示されます。この場合、“メモリースティック”を取り出して、確認してください。

- 4 本機との照合で“メモリースティック”の登録内容が一致した場合、ディスプレイに「OK」が2秒間表示されて、通常の動作に戻ります



- ・挿入した“メモリースティック”が登録したものと認識されなかった場合、ディスプレイに「ERR」(ERRおよびエラー回数)が2秒間表示されて、「- - - -」(暗証番号入力表示)が表示されます。“メモリースティック”を確認して、2からの操作を繰り返してください。
- ・セキュリティーの登録内容が記録された“メモリースティック”をフォーマットすると、この方法では解除することができなくなります。
- ・ディスプレイに「ERR5」(エラー回数5回目)が表示されると、「HELP」が表示されます。この場合は、お客様相談窓口までご連絡ください。(ご連絡先は「アフターサービスについて」(123ページ)を参照してください。)



ACCセキュリティの設定

ACCセキュリティは、“メモリースティック”セキュリティで暗証番号が登録されている場合、エンジンスイッチOFF後、再度エンジンスイッチをACCにすると、動作ロック状態になります。

- 1** 本機の電源がOFFになっていることを確認する
- 2** 暗証番号が登録されている状態で、番号ボタン[5]および[FUNC]ボタンを同時に2秒以上押す

ディスプレイに「ACC SEC」が表示され、ACCセキュリティ機能が設定されます。

再度、番号ボタン[5]および[FUNC]ボタンを同時に2秒以上押すとACCセキュリティの設定は解除されます。



ワンポイント

- ・エンジンスイッチOFF後、再度エンジンスイッチをACCにすると、動作ロック状態となります。通常の動作に戻すには、動作ロック状態の解除が必要です。動作ロック状態の解除は、「動作ロック状態の解除」(94ページ)を参照してください。
- ・車両の整備などで、バッテリーとの接続が断られたときは、ACCセキュリティの設定は解除されます。

セキュリティインジケータの表示

Key CDセキュリティ、または“メモリースティック”セキュリティが設定されている時、本機の電源、またはエンジンキーをOFFにすると、セキュリティインジケータが点滅します。また、点滅のON、OFFを切り換えることができます。

1 本機の電源がOFFになっていることを確認する

2 番号ボタン[2]および[FUNC]ボタンを同時に1秒以上押す

ボタンを押すごとにセキュリティインジケータのON、OFFが切り換わります。ON、OFFを切り換えたときは、ディスプレイに「IND. ----」、または「IND. FLASH」が表示されます。

「IND. ----」 ……………セキュリティインジケータは点滅されません

「IND. FLASH」 ……セキュリティインジケータは点滅されます

電子シリアルナンバー(Electronic Serial Number)の表示

1 本機の電源がOFFになっていることを確認する

2 番号ボタン[4]および[FUNC]ボタンを同時に1秒以上押す

「ESN」がディスプレイに表示された後、8桁の数字が表示されます。この数字はその機器の電子シリアルナンバー(Electronic Serial Number : ESN)です。本人のものと証明することができます。

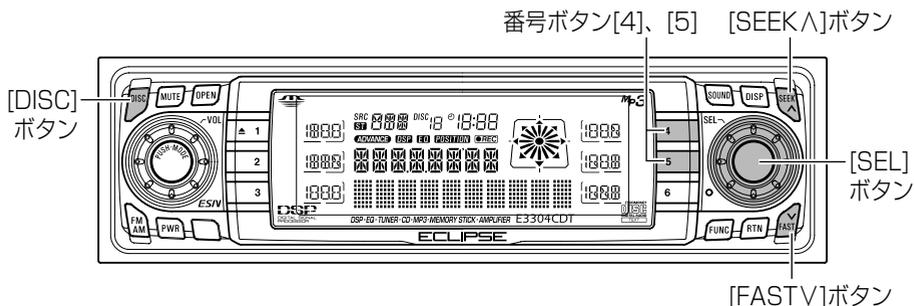
(別売)CDオートチェンジャー/MDチェンジャーを接続したときの操作

CDオートチェンジャーおよびMDチェンジャーを接続したときの操作手順を説明します。
ラジオから切り換えるときは[DISC]ボタンを押してください。

長時間モード(MDLPモード)で録音されたMDは、録音方式が異なりますので、再生できません。(無音状態となります)



- ・MDのグループ機能には対応していません。
- ・CD TEXTは表示できません。



ディスクモードに切り換える

別売のCDオートチェンジャーやMDチェンジャーにディスクが挿入されている場合、再生中のディスクの演奏が終了すると、自動的に次のディスクを再生します。この時CD→MD、MD→CDといったディスクモードの切り換えは行われません。

1 [DISC] ボタンを押して、CDチェンジャーモードまたはMDチェンジャーモードに切り換える

ボタンを押すごとにCDプレーヤ(CDP)→ CDチェンジャー(CDC)→ “メモリスティック”(MS)→ MDチェンジャー(MDC)の順に切り換わります。

ディスクが挿入されていない、または接続されていない機器は、飛ばして切り換わります。



CDやMDにキズや汚れがあると、演奏中に音が途切れることがあります。

次の曲に進む/曲の頭に戻る

1 [SEL]ボタンを回す

右に回す ……次の曲に進む

左に回す ……演奏中の曲の頭(繰り返し回すと前の曲)に戻る

早送り・早戻しする

1 [SEEK∧/FASTV]ボタンを押しつづける

[SEEK∧]ボタン ……早送りする

[FASTV]ボタン ……早戻しする

曲の始まりを演奏する(SCAN^{スキャン})

1 番号ボタン[4]を押す

演奏しているCD,MD全曲の始まりを10秒間ずつ演奏します。

「ALL SCAN」と表示されるまで押すと、挿入している全CD,MDの1曲目を10秒間ずつ演奏します。

再度番号ボタン[4]を押すと解除されます。

繰り返し演奏する(REPEAT^{リピート})

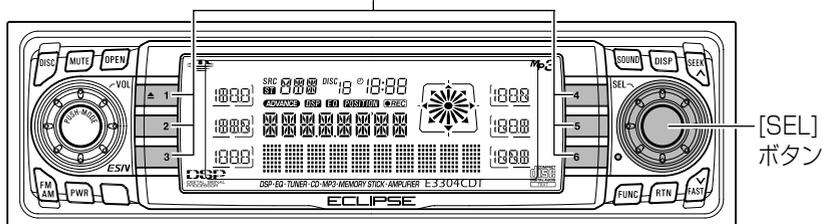
1 番号ボタン[5]を押す

演奏中の曲を繰り返し再生します。

「ALL RPT」と表示されるまで押すと、演奏中のCD,MD内の全曲を繰り返し再生します。

再度番号ボタン[5]を押すと解除されます。

番号ボタン[1]~[6]



曲の順番を変えて演奏する(ランダム)

1 番号ボタン[6]を押す

演奏中のCD,MD内の曲を順不同に演奏します。

「ALL RAND」と表示されるまで押すと、挿入している全CD,MD内の曲を順不同に演奏します。

再度番号ボタン[6]を押すと解除されます。



- ・「RANDOM」を選択中に、番号ボタン[5]を押すと、再生中の曲が繰り返し演奏されます。また、再生中にもう一度番号ボタン[5]を押すと、「RANDOM」に戻ります。

繰り返し再生される曲は下記になります。

- ・曲を再生しているとき：再生している曲を繰り返し演奏します。
- ・次の曲に切り換わるとき：切り換わる次の曲を演奏します。
- ・まれに同じ曲が続けて演奏(選択)されることがありますが、故障ではありません。
- ・「曲の始まりを演奏する」、「繰り返し演奏する」、「曲の順番を変えて演奏する」を選択すると表示部に「SCN」、「RPT」、「RND」などの文字が表示され、使用中の機能を確認することができます。

次のディスクに進む/前のディスクに戻る

1 番号ボタン[1]または[2]を押す

番号ボタン[1] ……ディスク番号が下のディスクへ移る

番号ボタン[2] ……ディスク番号が上のディスクへ移る

演奏するディスクを指定する

挿入しているディスクのうち、お聞きになりたいディスクをダイレクトに指定できます。

挿入できるディスク数に合わせ、MDは最高3枚、CDは最高12枚から選択できます。

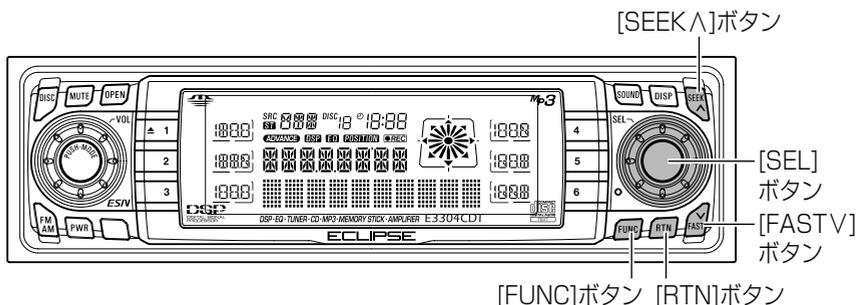
1 [SEL]ボタンを押す

2 番号ボタン[1]～[6]のいずれかを押す

MDの場合、番号ボタン[1]～[3]までが対応しています。

番号ボタン	1	2	3	4	5	6
ディスク番号	1	2	3	4	5	6
	7	8	9	10	11	12

ディスク番号7～12を指定するときは、番号ボタンを長めに(2秒以上)押ししてください。



CDのタイトルを設定する

CDにタイトルをつけ、表示させることができます。



ワンポイント

- ・最大で30枚分のタイトル記憶させることができます。
- ・タイトルは、最大12文字まで入力できます。
- ・CD TEXTにタイトルまたは曲名が記録されているときは、この機能はご使用になれません。

タイトルを設定したいディスクを選んでから以下の動作を行ってください。

1 [FUNC]ボタンを押す

ファンクションモードに切り換わります。

2 [SEL]ボタンを回し「DISC TITLE」を選択して、[SEL]ボタンを押す

ディスクタイトル設定モードになります。

3 [SEEK^]ボタンを押して、入力する文字の種類を選択する

ボタンを押すと「ABC」(大文字アルファベット)、「アイウ」(カナ)、「123」(数字)、「! ? #」(記号)の順に表示が切り換わります。

4 [SEL]、または[FASTV]ボタンを押して、入力する文字位置を選択する

点滅している位置に文字が入力されます。

[SEL]ボタン ……………右に進む

[FASTV]ボタン……………左に戻る

5 [SEL]ボタンを回して文字を選択する

右に回す ……………次の文字に進む

左に回す ……………前の文字に戻る

[大文字/アルファベット]初期値[A] 【右方向】

A → B → C → …X → Y → Z



[カタカナ]初期値[ア] 【右方向】

ア → イ → ウ → エ → オ → …ワ → ヲ → ン → ア → イ → ウ → エ → オ → ヤ → ユ → ヨ → ツ → * → 。



[数字]初期値[1] 【右方向】

1 → 2 → 3 → …8 → 9 → 0



[記号]初期値[!] 【右方向】

! → * → # → \$ → % → & → ' → (→) → * → + → , → - → . → / → : → ; → < → = → > → ? → @ → ^ → _



ワンポイント

- ・入力する文字の種類を変更するときは、**3**～**5**の手順を繰り返してください。
- ・文字は最大12文字まで入力できます。

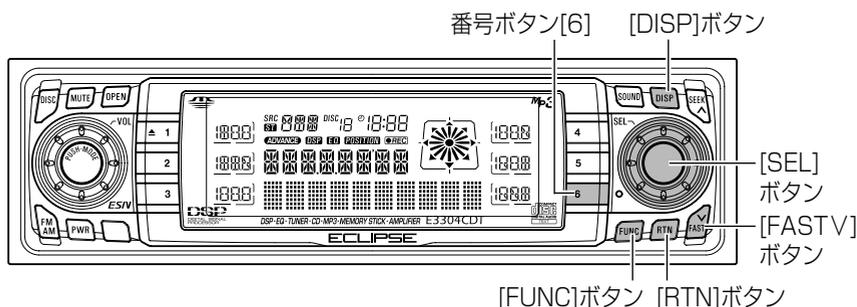
6 [RTN]ボタンを押す

ファンクションモードの設定項目の選択表示に戻ります。

7 [FUNC]、または[RTN]ボタンを押す

ファンクションモードが解除されます。

(**6**の時に[FUNC]ボタンを押してもファンクションモードは解除されず。)



設定したタイトルを変更する

- 1 [FUNC]ボタンを押す**
ファンクションモードに切り換わります。
- 2 [SEL]ボタンを回し「DISC TITLE」を選択して、[SEL]ボタンを押す**
ディスクタイトル設定モードになります。
- 3 [SEL]、または[FASTV]ボタンを押して、変更したい文字を点滅させる**
[SEL]ボタン ……………右に進む
[FASTV]ボタン……………左に戻る
- 4 [SEL]ボタンを回して、入力する文字を選択する**
右に回す ……………次の文字に進む
左に回す ……………前の文字に戻る
- 5 [RTN]ボタンを押す**
ファンクションモードの設定項目の選択表示に戻ります。
- 6 [FUNC]、または[RTN]ボタンを押す**
ファンクションモードが解除されます。
(5の時に[FUNC]ボタンを押してもファンクションモードは解除されません。)

設定したタイトルを削除する

- 1 [FUNC]ボタンを押す**
ファンクションモードに切り換わります。
- 2 [SEL]ボタンを回し「DISC TITLE」を選択して、[SEL]ボタンを押す**
ディスクタイトル設定モードになります。
- 3 「DELETE」と表示されるまで番号ボタン[6]を押す**
- 4 [RTN]ボタンを押す**
ファンクションモードの設定項目の選択表示に戻ります。
- 5 [FUNC]、または[RTN]ボタンを押す**
ファンクションモードが解除されます。
(4の時に[FUNC]ボタンを押してもファンクションモードは解除され
ます。)

MD演奏時の表示を切り換える

MDにタイトル名や曲名などが記録されているときは、それらを表示させることができます。表示部には、最大10文字まで表示されます。

- 1 [DISP]ボタンを長めに(2秒以上)押す**
ディスクタイトルがスクロール表示された後にトラックタイトルがスク
ロール表示されます。
トラックタイトルがスクロール表示された後、固定表示になります。



注意

- ・本機の表示部にMDのタイトルまたは曲名が表示されていないときは、この機能はご使用になれません。
- ・入力した機器によって、タイトルが正常に表示されないことがあります。
- ・ディスクによって全てのタイトル文字が表示されないことがあります。

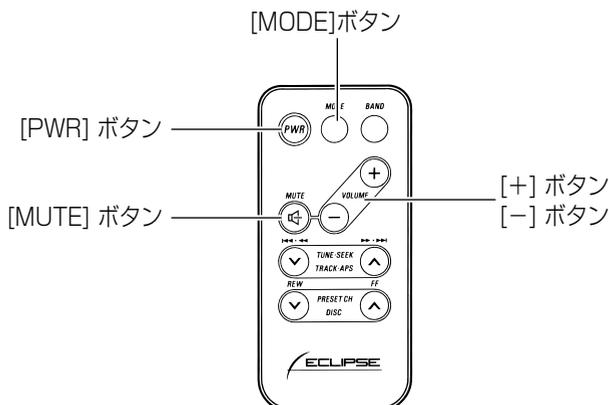
(別売)リモコンの操作

使用上の注意

- ・リモコンは小型で軽量なため取り扱いには注意してください。落としたりぶつけたりすると、破損したり、電池の消耗を早めたり、誤動作の原因になります。
- ・リモコンは湿気、ほこりを避け、ショックを加えたり、水などをかけたりしないでください。
- ・ダッシュボードなど直射日光のあたる場所には置かないでください。
- ・運転の妨げにならないようにご使用ください。

清掃について

- ・リモコンのお手入れの際は、乾いた布(汚れがひどい場合は水を少しつけて堅くしぼった布)で拭いてください。ベンジン、シンナー類を使うと、ケースや塗装が変質しますので、絶対に使用しないでください。



電源を入れる/切る

1 [PWR] ボタンを押す

ボタンを押すごとに電源が入ったり、切れたりします。



本体の[PWR]ボタンを長めに(2秒以上)押ししてALL OFF状態になっている場合は、リモコンによる操作はできません。

音量を調節する

1 [+]ボタンまたは[-]ボタンを押す

[+]ボタン ……音量が上がる

[-]ボタン ……音量が下がる

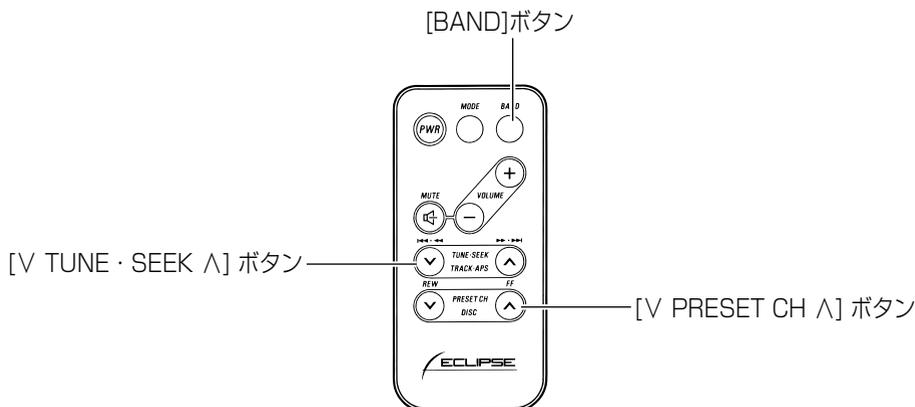
瞬時に音量を下げる(ミュート)

[MUTE]ボタンを押すごとに、瞬時に音量を小さくしたり、元に戻したりすることができます。

機能を切り換える

1 [MODE] ボタンを押す

ボタンを押すごとに、ラジオ→ディスクモード→AUXの順に切り換わります。



ラジオ利用時の操作

FM AMを切り換える

1 [BAND] ボタンを押す

ボタンを押すごとに、FM1→FM2→AM1→AM2の順に切り換わります。

放送局を選ぶ(自動・手動)

ボタンを短く(1秒未満)押すと手動で、長めに(2秒以上)押すと自動で放送局を選べます。

1 [V TUNE・SEEK Δ]ボタンを押す

[Δ]ボタン……周波数の高い方へ選局

[V]ボタン……周波数の低い方へ選局

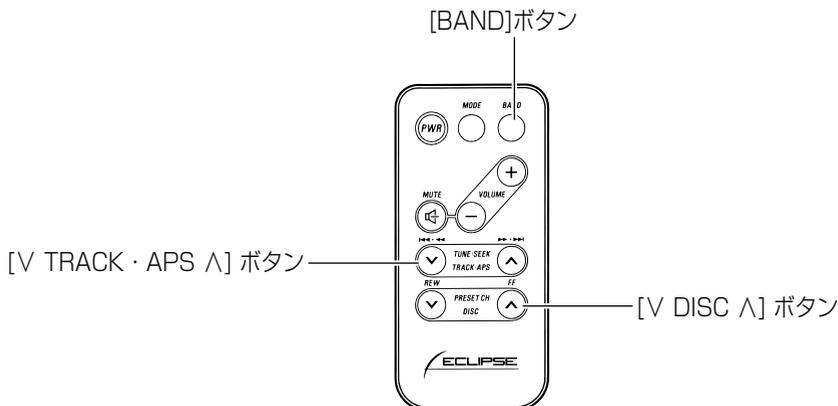
記憶済みの放送局を選ぶ

本体で記憶させた6つの放送局(プリセット選局)から呼び出します。
(「手動で放送局を記憶させる」59ページ参照)

1 [V PRESET CH Δ]ボタンを押す

[Δ]ボタン……プリセット番号の高い方へ選局

[V]ボタン……プリセット番号の低い方へ選局



CD、MD利用時の操作

次の曲に進む/曲の頭に戻る

- 1 [V TRACK · APS ^] ボタンを押す
 [^]ボタン……次の曲に進む
 [V]ボタン……演奏中の曲の頭に戻る



ワンポイント

ボタンを押しつづけると、演奏中の曲を早送り(△方向)または早戻し(V方向)します。

次のディスクに進む/前のディスクに戻る

CD(MD)チェンジャー接続時のみ

- 1 [V DISC ^] ボタンを押す
 [^]ボタン……ディスク番号が上のディスク(次のディスク)へ移動
 [V]ボタン……ディスク番号が下のディスク(前のディスク)へ移動

ディスクモードを切り換える

- 1 [BAND] ボタンを押す
 CD(MD)チェンジャーを接続しているときは、ボタンを押すごとに、
 CDプレーヤー→CDオートチェンジャー→“メモリースティック”
 プレーヤー→MDチェンジャーの順に切り換わります。
 このとき、ディスクが挿入されていない、または接続されていない
 機器は、飛ばして切り換わります。

電池を交換する



事故防止のため、電池は幼児の手の届かないところに保管してください。万一、お子さまが飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談してください。

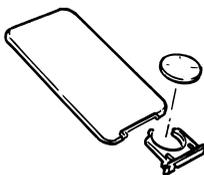
電池は、CR2025(1個)をご使用ください。

- 1 リモコン裏面にある引き出し口のロックを右に動かしながら、引き出し口につめをひっかけて電池ケースを引き出す

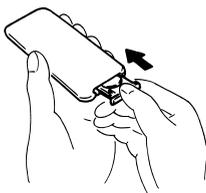


- 2 電池を入れ替える

+表示を上にして電池をセットしてください。

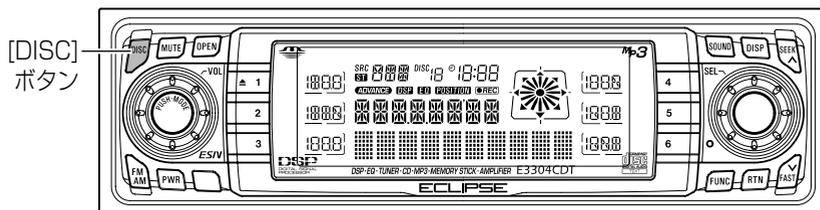


- 3 カチッと音がするまで引き出し口を差し込んで電池ケースを閉める



誤って電池を飲み込むことのないよう、取り扱いには十分注意してください。

その他の操作



ポータブルオーディオ機器をAUX端子に接続する場合

市販のステレオミニプラグコードを使用して、本機のAUX端子とポータブルオーディオ機器のオーディオ出力(LINE)またはヘッドフォン端子を接続してください。

- 1 接続したポータブルオーディオ機器の電源を入れ、再生状態にする
- 2 [DISC] ボタンを長めに(2秒以上)押してAUXモードに切り換える

AUXモードに切り換わると「AUX」と表示され、接続されたオーディオ機器の再生音がスピーカから出力されます。



ワンポイント

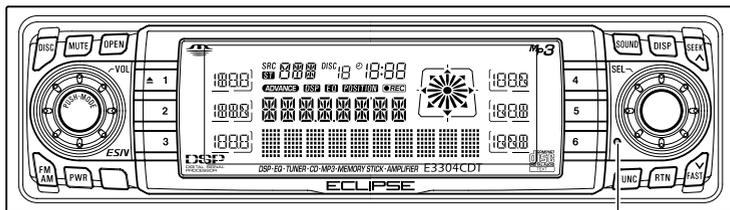
- ・AUXモードに切り換えてからポータブルオーディオ機器の電源を切り換えたり、プラグコードを抜き挿しすると、ノイズが発生しスピーカ破損の原因となる場合がありますので、必ず本機の電源をOFFにするか、他のモードに切り換えてから行ってください。
- ・接続された機器によって出力レベルが異なりますので、音量にご注意ください。
- ・ポータブルオーディオ機器を車載でご使用になる場合は、そのポータブルオーディオ機器の取扱説明書をよくお読みになり、車載での使用に問題がないことをご確認のうえご使用ください。

困ったときは

お問い合わせになる前に、次の項目をご確認ください。



ボタンを押しても正常に動作しない、ディスプレイが誤表示するなどの異常が発生したときは、先端の尖ったもので[RESET]ボタンを押してください。



[RESET]ボタン

[RESET]ボタンを押すと記憶させた内容は消去され、すべての設定が工場出荷時の値に戻ります。

インフォメーションが点滅する

インフォメーション(「INFO No.」や「MSINFO NO.」など)が表示されたときは、下表を参考に対処してください。

また、症状が改善されない場合は、機器の故障が考えられます。お買い求めの販売店にご相談ください。

表示内容	インフォメーション	対処
INFO 2	マガジンにディスクが入っていない	ディスクを入れてください。
INFO 3	ディスクの信号面に紙やシールが貼ってあったり、キズやホコリがある	ディスククリーナ等で中心から外側方向へ軽く拭き取ってください。
INFO 4*	無録音のディスクが入っている	録音済みのディスクを入れてください。
INFO 5	メカトラブル	イジェクトボタンを押して一度ディスクまたはマガジンを出し、再度ディスクまたはマガジンを挿入して再生してください。 イジェクトしてもディスクまたはマガジンが出ないときや再生できない場合は、お買い求めの販売店にご相談ください。
INFO 6	内部が高温になった	しばらく待ち、温度が下がってから再生をはじめてください。 それでも機能が停止しているときは、お買い求めの販売店にご相談ください。
INFO 7	内部電源が異常になっている	ACCを一度OFFにし、再度ONにしてから操作してください。 それでも機能が停止しているときは、お買い求めの販売店にご相談ください。
INFO 8*	ディスクの交換トラブルが発生している	ディスクを再度挿入するか、取り出してください。

※この内容は、MDのみ適用されます。

表示内容	インフォメーション	対処
CHECK	“メモリースティック”の認証中	“メモリースティック”の認証にしばらく時間がかかります。しばらく待ち、表示が消えてからお使いください。
MSINFO 1	“MGメモリースティック”が入っていない	“MGメモリースティック”を入れてください。
MSINFO 2	対応していないフォーマットの“メモリースティック”を挿入した	本機でフォーマットしてください。
MSINFO 3	“メモリースティック”の誤消去防止スイッチがロックされている	誤消去防止スイッチのロックを解除してください。
MSINFO 4	“メモリースティック”の容量が一杯になった	不要なデータを削除してから、再度録音を開始してください。
MSINFO 5	“メモリースティック”に最大曲数(400曲)を超えて録音しようとした	不要なデータを削除してから、再度録音を開始してください。
MSINFO 6	対応していない“メモリースティック”を挿入した	本機で使用できる“メモリースティック”を確認してください。
MSINFO 7	再生可能な音楽データがない	音楽データが入っている“MGメモリースティック”を挿入してください。
MSINFO 8	再生制限付きのデータを制限を超えて再生しようとした	再生制限を超えた音楽データは再生できません。再度、データを入力してから再生してください。
MSINFO 9	再生中の再生制限付きの音楽データが制限を超えてしまった	再生制限を超えた音楽データは再生できません。再度、データを入力してから再生してください。
FILE ERR	ファイルエラー	対応しているファイルが入っている“メモリースティック”を挿入してください。
REC ERR	音楽CDなどから録音されたCD-R、CD-RWを“MGメモリースティック”に録音しようとした	本機はSCMS/SDMI規格に対応しており、音楽CDなどからデジタル録音されたCD-R、CD-RWからは録音できません。

	症状	原因	処置	参照ページ
共通	音が出ない。 音が小さい。	音量が下がっていませんか。	音量を上げてください。	22
		ミュート (MUTE) が働いていませんか。	ミュート (MUTE) を解除してください。	22
		フェダーやバランスが片寄った設定になっていませんか。	フェダー、バランスを適正な位置に調整してください。	22
		その他、音声信号配線の線噛みや断線、スピーカの故障やコネクタ抜けなどが考えられます。	ご購入の販売店にて点検を行ってください。	—
	電源が入らない。	一度にたくさんの電装品を取り付け、電力不足になっていませんか。	ご購入の販売店にて点検を行ってください。	—
		その他、お車のバッテリーの消耗、ヒューズ切れ/電源、通信配線の断線や線噛みなどが考えられます。	ご購入の販売店にて点検を行ってください。	—
	メモリした周波数やタイトルが消えてしまう。	お車の定期点検などでバッテリーを外されたことはありませんか。	もう一度メモリし直してください。	59
		一度にたくさんの電装品を取り付け、電力不足になっていませんか。	ご購入の販売店にて点検を行ってください。	—
		その他、お車のバッテリーの消耗、ヒューズ切れ/電源、通信配線の断線や線噛みなどが考えられます。	ご購入の販売店にて点検を行ってください。	—
	ガイドトーン(操作音)が出ない。	ガイドトーンの設定がOFFになっていませんか。	ガイドトーンを設定し直してください。	29

	症状	原因	処置	参照 ページ
ラジオ	放送を受信できない。 雑音が入る。	アンテナが収納された状態ではありませんか。	アンテナを伸ばしてください。	—
		アンテナコードは抜けていませんか。	アンテナコードを接続してください。	—
		周波数は正しくセットされていますか。	周波数を正しくセットし直してください。	58
		放送サービスエリアを外れていませんか。	移動先の地域の放送周波数にセットし直してください。 (放送サービスの無い地域もありますので、ご注意ください。)	58
		コンピュータを搭載した機器や携帯電話などを使用していますか。	機器の使用を停止すれば解消されます。常に発生する場合は、ご購入の販売店にて点検を行ってください。	—
		その他、アンテナの劣化やアンテナ配線の断線などが考えられます。	ご購入の販売店にて点検を行ってください。	—

	症状	原因	処置	参照ページ
CD	ディスクが入らない。 ディスクを入れても すぐ排出される。 または、ディスクが 排出されない。 ディスクチェンジが できない。	ディスクにラベルや シールなどを貼り付 けていませんか。	ディスクにはラベル やシールなどを貼り 付けないでください。	12
		ディスクにバリや変 形、破損箇所はあり ませんか。	他のディスクに入れ 替えてみてください。 バリのあるディスク は、バリを取り去っ てご使用ください。 変形や破損したディ スクはご使用になら ないでください。	12、 13
	音が飛ぶ。 音が途切れる。 音質が悪い。	ディスクにキズや汚 れはありませんか。	他のディスクに入れ 替えてみてください。 キズのあるディス クは、ご使用になら ないでください。	12
		取付け角度は適正で すか。 取付けにガタはあり ませんか。	ご購入の販売店に て点検を行ってくだ さい。	—
		悪路を走行されてい ませんか。	悪路を走行中の使 用は、できる限り 避けてください。	10
		その他、ディスクに 記録されている音楽 ソースの音質やトラ ブルなどが考えられ ます。	ご購入の販売店に て点検を行ってくだ さい。	—

仕様について

本機の仕様は、次のようになっています。

CD部/“メモリースティック”部

周波数特性	20Hz～20kHz
ダイナミックレンジ	98dB
S/N比	100dB(IHF-Aネットワーク)
チャンネルセパレーション	85dB
高調波歪み率	0.02%(0dB, 1kHz)
ワウ・フラッタ	測定限界以下

ラジオ部・FM

受信周波数	76.0～90.0MHz
実用感度	12dBf(新IHF)
周波数特性	30Hz～15kHz
ステレオセパレーション	38dB

ラジオ部・AM

受信周波数	522～1629kHz
実用感度	22 μ V(S/N 20dB)

AUX部

入力端子	ϕ 3.5ステレオミニジャック
入力インピーダンス	10K Ω
最大入力	240mVrms

共通部

周波数特性	20Hz~20kHz
S/N比	108dB(IHF-Aネットワーク)
調整周波数	アドバンス OFF Bass 80Hz TREBLE 10kHz ±12dB アドバンス ON GEQ 63Hz, 100Hz, 160Hz, 250Hz, (13バンド) 400Hz, 630Hz, 1kHz, 1.6kHz, 2.5kHz, 4kHz, 6.3kHz, 10kHz, 16kHz PEQ 80~12.5kHz, 2/3octステップ (11バンド) ±10dB チャンネルデバイダ クロスポイント周波数 63~200Hz, 1/3octステップ スロープ 12dB/oct
ラウドネス	・100Hz: +10dB ・10kHz: +6dB
最大出力	50W×4
適合負荷インピーダンス	4Ω(各チャンネル)
LINE OUT出力レベル	330mV/-20dB
電源電圧	DC13.2V(11~16V)、⊖アース専用
消費電流	1W×4出力時 約3A、最大約12A
寸法	178mm(幅)×50mm(高さ)×155mm(奥行)
重量	本体約1.4kg
保存温度範囲	-40℃~+85℃
動作温度範囲	-20℃~+65℃

製品の仕様および外観等の変更により、本書の内容が本機と一致しない場合がありますのでご了承ください。

アフターサービスについて

- 1.この商品には保証書を添付しております。
保証書は販売店でお受けとりの際、必ず「販売店名、お買い上げ日」などの記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保管してください。
- 2.保証期間は、お買い上げ日から1年間です。
- 3.調子が悪いとすぐ故障と考えがちですが、修理に出す前に本書の「困ったときは」(112ページ)を、もう一度よくご覧のうえ調べてください。簡単な調整やお手入れで直ることがあります。それでも具合が悪いときは、次により修理をお申しつけください。
 - ◆修理の受け付けは、お求めの販売店が行います。
 - ◆保証期間中は、商品に保証書を添えてお求めの販売店にお持ち込みください。
保証書に記載しております保証規定にもとづいて、無料で修理いたします。
※修理、点検に要する商品の脱着費用は、保証期間内においても基本的に有償となります。
 - ◆保証期間が過ぎているときは、お客様のご希望によりまして、有料で修理をお引き受けいたしますのでお求めの販売店にお持ち込みください。
- 4.出張による修理、点検は行っておりません。
- 5.この商品の補修用性能部品(機能を維持するために必要な部品)は、製造打ち切り後最低6年間保有しております。

MEMO

MEMO

<商品に関するお問い合わせ先> アフターサービスについて

<商品のアフターサービスに関するお問い合わせはお求めの販売店または下記「お客様相談窓口」へ>
 ※修理のご依頼は、お求めの販売店へお願いいたします。

【お客様相談窓口】

富士通テン（株）本社	0120-022210
北海道全域	(011) 821-2221
東北、関東、甲信越地区	(03) 3366-3833
中部、北陸地区	(052) 581-8726
近畿、中国、四国地区	(078) 682-2245
九州全域、沖縄	(092) 511-3252

受付時間：午前10:00～12:00 午後1:00～5:00
 （土・日・祝日などを除く）

<商品のご購入、組み合わせ等に関するお問い合わせについては、お求めの販売店または最寄りの下記販売会社へ>

富士通テン東日本（株）	〒160-0023 東京都新宿区西新宿 8 丁目14番24号 (西新宿KFビル)	(03)5330-6244	東京、神奈川、千葉、 甲信越地区
北海道支社	〒003-0809 札幌市白石区菊水 9 条 2 丁目 1 番地	(011)821-2221	北海道全域
北関東支店	〒329-0201 栃木県小山市大字栗宮1851番地1	(0285)22-6410	栃木、埼玉、群馬、茨城
東北支店	〒983-0841 仙台市宮城野区原町2丁目3番48号 (イワイビル)	(022)256-2291	東北地区
富士通テン中部（株）	〒450-0003 名古屋市中村区名駅南3丁目11番10号	(052)581-8621	愛知、岐阜、三重
北陸支店	〒921-8005 金沢市間明町2丁目147 (セレッソワン101)	(076)292-1685	福井、石川、富山
静岡支店	〒421-0122 静岡市用宗5丁目1番10号 (サンライズ用宗105)	(054)259-2820	静岡
富士通テン西日本（株）	〒663-8241 西宮市津門大塚町7番35号	(0798)36-7481	兵庫、大阪、京都、滋賀、 奈良、和歌山
中国支店	〒734-0044 広島市南区西霞町2番25号	(082)255-2422	中国地区
四国支店	〒760-0034 高松市内町1番13号（日新内町ビル）	(087)822-1411	四国地区
九州支社	〒815-0032 福岡市南区塩原2丁目7番7号	(092)511-3210	福岡、佐賀、長崎、熊本、 大分、沖縄
鹿児島営業所	〒890-0053 鹿児島市中央町16番10号（スカイビル）	(099)250-4737	鹿児島、宮崎

富士通テン株式会社

所在地 〒652-8510 神戸市兵庫区御所通1丁目2番28号
電話 神戸(078) 671-5081(代表)

090002-2675A700
0402(Y)